

FMPRシリーズ



FMPRシリーズ

取扱説明書

LANカード (FMPR-LN2)

FUJITSU

【表記について】

本マニュアルでは、操作に関して以下の表記を使用します。また、安全に正しくお使いいただくための表示については、「安全に正しくお使いいただくために」の項を参照してください。



…… 操作上の注意や、機能に対する制限事項などが記述されています。
正しい操作を行えるように必ずお読みください。



…… 本製品の操作時に、ご参考いただける内容が記述されています。
マニュアル本文とあわせてお読みください。

-
- ・本マニュアルに表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合があります。
 - ・本マニュアルに記載された仕様、その他については改良のため変更することがあります。
 - ・PR-LN2とFMPR-LN2は同一のものを示します。
 - ・FMPR5000シリーズは、FMPR5010/5110G/5310EG/5410G/5610Gを示します。
 - ・FMPR3000シリーズは、FMPR3000Gを示します。
-
- ・Windows Server、Windows Vistaは米国 Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。
 - ・Ethernetは米国ゼロックス社の商標です。
 - ・Adobe、Acrobat、およびReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
 - ・その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。

安全に正しくお使いいただくために

本製品を正しく、安全にご使用いただくために、以下の各項を熟読したうえでお取扱いください。尚、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いのほかに、操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。また、本書には弊社製品だけではなく、弊社製品を組み込んだプリンタに関する注意事項も記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

警告表示について

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の絵表示を使っています。



で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。



{ 内に斜線 } で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。

記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。



警告



分解禁止

本製品を分解したり、改造したりしないでください。
本製品の点検・調整・修理は販売店に依頼してください。



電源プラグを抜く

衝撃を与えないでください。万一、衝撃を与え、破損した場合は、プリンタ本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。



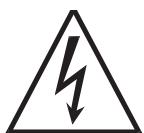
禁止

本製品に接続しているコード類、ケーブル類には、子供が手を触れないよう十分ご注意ください。感電、ケガのおそれがあります。



電源プラグを抜く

本製品を取り外しするときは、必ずプリンタ本体の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



感電注意

感電防止のため、プリンタ本体のアース線は、コンセントのアース端子または、D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子に必ず接続してください。ガス管や水道管、電話線のアース、避雷針等には、絶対に接続しないでください。



注意



禁止

プリンタ本体の電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

本製品は以下のような場所で使用したり保管しないでください。故障の原因になることがあります。

- ・振動や衝撃が加わる場所
- ・傾いたり不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・水気の多い場所（台所、浴室等）
- ・熱を発生する物の近く（ストーブやヒーター等）
- ・温度差の激しい場所
- ・強い磁力電波が発生するものの近く（磁石、ラジオ、無線機等）



厳守

本製品の使用の前には、すべてのコード類、ケーブル類が正確でかつ安全に接続されていることを確認してください。



注意



本製品を移動させる場合は、必ずプリンタ本体の電源プラグ
をコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く



連休等で長期間本製品をご使用にならない場合は、安全のため
必ず本製品を装着しているプリンタ本体の電源プラグを抜いて
ください。

電源プラグを抜く

目次

はじめに	1
本製品の導入	3
本製品の設定ユーティリティ	3
本製品の導入と設定（管理者編）.....	4
本製品の設定（クライアント編）.....	4
本製品の詳細設定 / 設定変更 / 管理を行う	5
第1章 FMPR-LN2について	1-1
FMPR-LN2 の特長	1-1
動作環境	1-2
機器の説明	1-3
各部の名称と働き	1-3
取り付け方法	1-4
FMPR5000 シリーズへ本製品を取り付ける	1-4
FMPR3000 シリーズへ本製品を取り付ける	1-6
ネットワークに接続する	1-9
取り外し方法	1-10
FMPR5000 シリーズから本製品を取り外す	1-10
FMPR3000 シリーズから本製品を取り外す	1-12

第2章 User Software について	2-1
User Software を Windows で使用する	2-1
セットアップについて	2-2

第3章 Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2 の IPv4 環境で使用する	3-1
Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2 の IPv4 環境 から TCP/IP で印刷する	3-1
パソコンのネットワーク設定を確認する	3-2
Windows XP の場合	3-2
Windows Server 2003 の場合	3-4
Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の場合	3-6
Quick Setup による簡単設定	3-7
PR-Port Manager をインストールする	3-11
印刷ポートを追加する	3-14
PR-Port Manager LPR ポートを追加する場合	3-15
PR-Port Manager IPP ポートを追加する場合	3-17
プリンタドライバの設定	3-19
プリンタポートの設定項目	3-21

OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	3-22
Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2 の Standard TCP/IP ポートで印刷する	3-22
Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2 の LPR ポートで印刷する	3-27
Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2 の IPP ポートで印刷する	3-32

第4章 Windows Vista/7/Server 2008 /2008 R2 の IPv6 環境で使用する 4-1

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の IPv6 環境から TCP/IP で印刷する	4-1
IPv6 機能を有効にする	4-2
パソコンのネットワーク設定を確認する	4-5
Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の場合	4-5
OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	4-7
Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の Standard TCP/IP ポートで印刷する	4-7
Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の LPR ポートで印刷する	4-12
Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の IPP ポートで印刷する	4-17

第5章 設定に関する機能	5-1
AdminManager で設定する	5-1
AdminManager を起動する(インストールせずに直接 CD-ROM から起動する場合)	5-2
AdminManager をインストールする(インストールしてから 使用する場合)	5-4
AdminManager で本製品を検索する	5-7
AdminManager の機能	5-8
AdminManager メニュー構成	5-8
プリントステータス	5-9
システムステータス	5-9
設定項目一覧表示	5-10
AdminManager で本製品の設定を行う	5-11
プリントサーバの設定	5-11
General の設定	5-12
TCP/IP の設定	5-13
SNMP の設定	5-15
POP の設定	5-16
SMTP の設定	5-17
PrinterPort の設定	5-19

Web ブラウザで設定する	5-20
本製品の Web ページを表示する	5-21
AdminManager から Web ページを表示する	5-21
Web ブラウザから Web ページを表示する	5-21
本製品の Web ページから設定する	5-22
本製品 Web ページメニュー構成	5-22
Web ブラウザ設定項目	5-23
プリントサーバ機能	5-23
General	5-23
TCP/IP	5-23
SNMP	5-25
PRINTER	5-26
E-Mail 受信 (POP)	5-27
E-Mail 送信 (SMTP)	5-28

第6章 Popup Status Monitor 6-1

Popup Status Monitor について	6-1
Popup Status Monitor の起動	6-1
Popup Status Monitor の表示	6-2
プリンタ情報	6-2
システム情報	6-3
メニュー構成	6-3
オプション設定ダイアログ	6-4
ステータス監視	6-4
表示	6-5

第7章 こんなときは 7-1

導入時の問題	7-1
印刷時の問題	7-7
Windows TCP/IP 環境での問題	7-9

付録 FMPR-LN2	1
ハードウェア仕様	1
ソフトウェア仕様	2

はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルは、本製品の設定およびご利用方法を記載したものです。正しく安全にお使いいただくために、ご熟読ください。また、複数製品共通のマニュアルとなっておりますので、ご使用になる製品の仕様と一部異なる箇所があります。使用できるプリンタの機種については、システム構成図、カタログ等で確認してください。

本文中の略語について

- Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Edition Windows XP
- Microsoft® Internet Explorer Internet Explorer
- Windows Vista® Enterprise、Windows Vista® Business、Windows Vista® Ultimate
、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Home Basic Windows Vista
- Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition
Windows Server 2003 x64
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Windows XP x64
- Microsoft® Windows® Server 2008 Standard、Misrosoft® Windows® Server 2008
Enterprise Windows Server 2008
- Windows® 7 Enterprise、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Ultimate
、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Home Basic、Windows® 7 Starter
Windows 7
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard、Misrosoft® Windows Server®
2008 R2 Enterprise Windows Server 2008 R2

- Windows XP および Windows Server 2003 Windows XP/Windows Server 2003
- Windows XP、Windows Vista および Windows Server 2003
Windows XP/Vista/Windows Server 2003
- Windows XP x64 Edition および Windows Server 2003 x64 Edition
Windows x64
- Windows Vista および Windows Server 2008 Windows Vista/Server 2008
- Windows XP、Windows Vista、Windows Server 2003 および Windows
Server 2008 Windows XP/Vista/Windows Server 2003/2008
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、
Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2
Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2

本製品の導入

本製品の導入手順について説明します。ご利用の環境にあわせた手順で本製品をネットワークに接続し、ご利用のプリンタをネットワークプリンタとしてお使い頂くことができます。本製品の導入手順に従って、本マニュアルの関係する章を参照しながら、導入を進めてください。



注意

- ご利用の環境によっては、以下で説明している導入手順と異なる場合があります。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。

本製品の設定ユーティリティ

本製品の設定が行える設定ユーティリティは以下の通りです。ご利用の環境にあわせた設定ユーティリティをご利用ください。

設定ユーティリティは、添付の CD-ROM に入っています。

設定ユーティリティは、IPv4 環境でご使用ください。

設定ツール	Quick Setup	本製品の初期導入を行う（推奨）	第3章
	Advanced Setup	本製品の詳細設定および設定変更、管理を行う	第5章
	PR-Port Manager	印刷クライアントソフトと Popup Status Monitorをインストールする	第3章

本製品の導入と設定（管理者編）

本製品の導入と設定手順について説明します。

STEP1 取り付け	本製品をプリンタとネットワークに接続する	第1章
STEP2 設定	Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2のIPv4環境で本製品を使用する	第3章
	Windows Vista/7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2のIPv6環境で本製品を使用する	第7章
STEP3 設定の確認	設定項目の一覧を表示し、設定の確認を行う	第4章

本製品の設定（クライアント編）

本製品の設定手順について説明します。

STEP1 設定	Windows XP/Vista/7/Windows Server 2003/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2のIPv4環境で本製品を使用する	第3章
	Windows Vista/7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2のIPv6環境で本製品を使用する	第7章
STEP2 設定の確認	設定項目の一覧を表示し、設定の確認を行う	第4章

本製品の詳細設定/設定変更/管理を行う

本製品の詳細設定 / 設定変更 / 管理を行う総合ユーティリティ AdminManager のご利用方法について説明します。

設定に関する機能	AdminManagerで設定する	第4章
	Webブラウザで設定する	

第1章 FMPR-LN2について

本章では、製品の動作環境や概要、ネットワークへの接続方法について説明します。

FMPR-LN2の特長

- 10BASE-T、100BASE-TX対応（自動認識）
- 簡単設定のQuick Setup
- HTTP搭載でWebブラウザからの設定も可能
- 総合ユーティリティ「AdminManager」標準添付
- 統合クライアントソフトウェア「PR-Port Manager」標準添付
- E-Mail送受信機能搭載
- IPv6対応

添付の総合ユーティリティ、総合ソフトウェアはIPv6環境対応はしておりません。

・セキュリティ対策

ネットワークプリンタのセキュリティ対策として、IP フィルタ機能搭載。(IPv4のみ)

IP アドレスレベルで FMPR-LN2 へのアクセスを制限する機能です。

特定範囲の IP アドレスからのアクセスを禁止、または特定範囲の IP アドレスのみのアクセスを許可することでプリンタを予期せぬアクセスから保護します。

・DDNS (Dynamic Domain Name System) 機能搭載

FMPR-LN2 の IP アドレスを DDNS 機能搭載の DNS サーバに通知する機能を搭載。

これにより、FMPR-LN2 が DHCP サーバより動的に IP アドレスを獲得した場合にも、即座に Domain Name System に反映され、ドメイン名と IP アドレスの不整合を防ぐことができます。

・ポップアップステータスマニタ機能搭載

プリンタの状態をパソコン画面に表示してお知らせする、ポップアップステータスマニタ機能を搭載。

動作環境

ネットワークに接続するために必要な機器

ネットワークケーブル（100BASE-TX 環境ではカテゴリ 5 またはエンハンスドカテゴリ 5）
イーサネットハブ
プリンタ本体

対応プロトコル / 対応 OS

< FMPR-LN2 >

対応プロトコル : TCP/IP

対応 OS :

IPv4:Windows XP(32/64ビット)、
Windows Server 2003(32/64ビット)、Windows Vista(32/64ビット)、
Windows Server 2008(32/64ビット)、Windows 7(32/64ビット)、
Windows Server 2008 R2(64ビット)

IPv6:Windows Vista(32/64ビット)、Windows 7(32/64ビット)、
Windows Server 2008(32/64ビット)、Windows Server 2008 R2(64ビット)

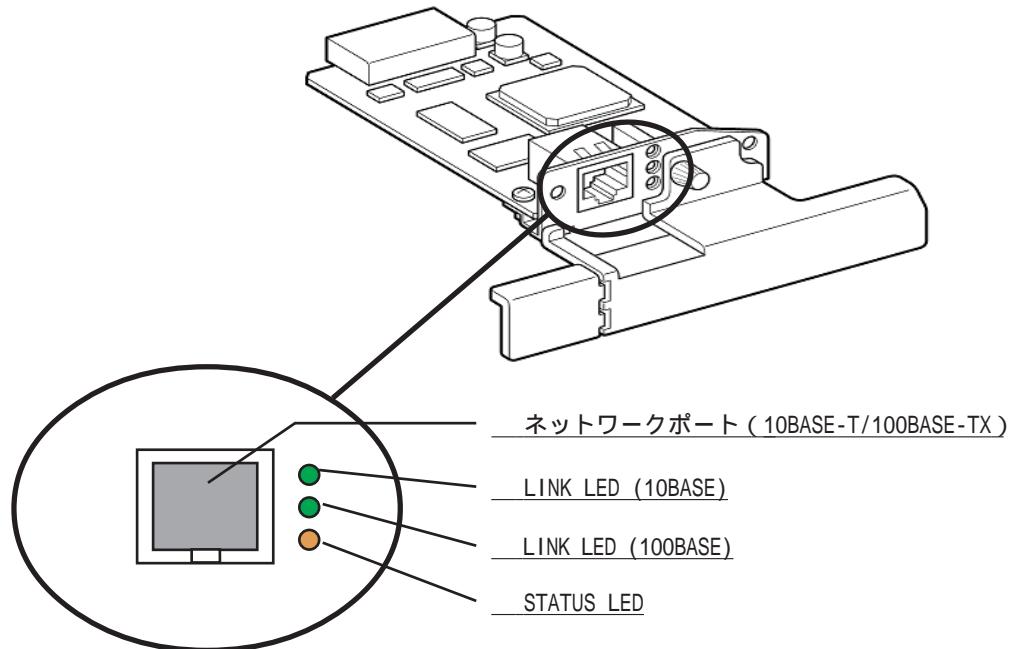


- ・ LAN カードを取り付けた場合、パラレルインターフェースおよび USB インタフェースは使用できません。

機器の説明

各部の名称と働き

パネル部



ネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX 自動認識)

ネットワークケーブルを接続します。

(100BASE-TX 環境では、カテゴリ 5 またはエンハンスドカテゴリ 5)

LINK LED 10BASE (緑)

10BASE-T でネットワーク接続が確立されると、点灯します。

LINK LED 100BASE (緑)

100BASE-TX でネットワーク接続が確立されると、点灯します。

STATUS LED (オレンジ)

通信中は、点滅します。

取り付け方法

本製品は、FMPR5000/3000シリーズに取り付け可能です。FMPR5000シリーズとFMPR3000シリーズでは取り付け方法が異なります。

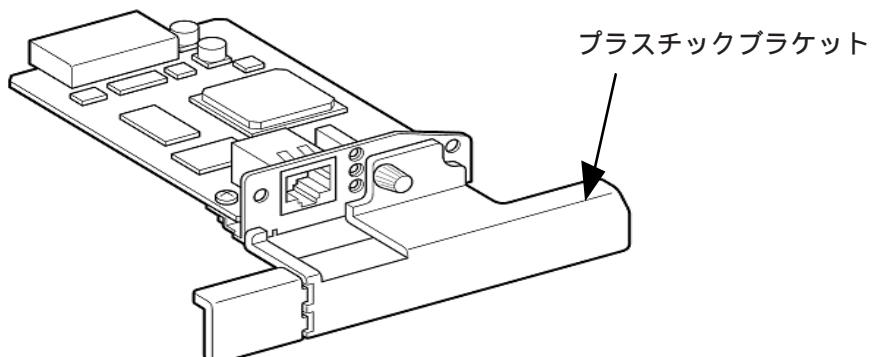
ここでは、FMPR5000シリーズへの取り付け方法について説明します。

FMPR5000シリーズ（注）へ本製品を取り付ける

注) FMPR5000シリーズとはFMPR5610G, 5410G, 5310EG, 5110G, 5010です。



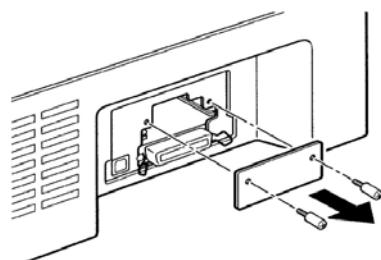
- ご利用になるプリンタによって取り付け方法、および取り付け位置が異なる場合があります。詳しい取り付け方は各プリンタの取扱説明書を参照してください。
- 本製品を取り付ける際は、必ずプリンタの電源コードを外した状態で行ってください。
- 本製品を一度でも他のネットワークで利用された場合は、必ず「工場出荷時設定に戻す」作業を行ってください。
- 本製品のプラスチックブラケット部はご購入状態では下図の形状です。そのプラスチックブラケットの左端部は、切り取らないでご購入状態のまま取り付けをお願いします。（FMPR3000シリーズへ取り付ける場合に切り取ります。）
プラスチックブラケットを切り取った本製品を、FMPR5000シリーズに装着した際にUSBポートが見えますが、使用はできません。



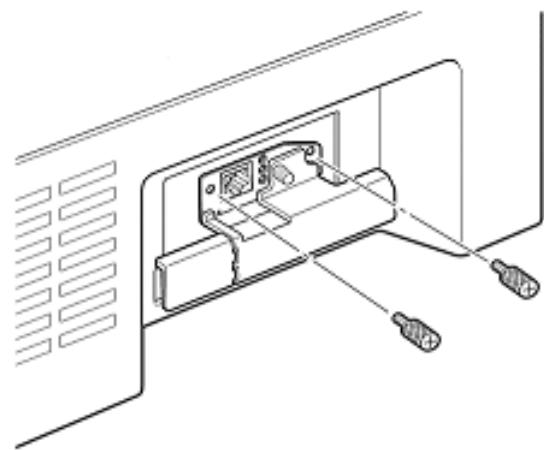
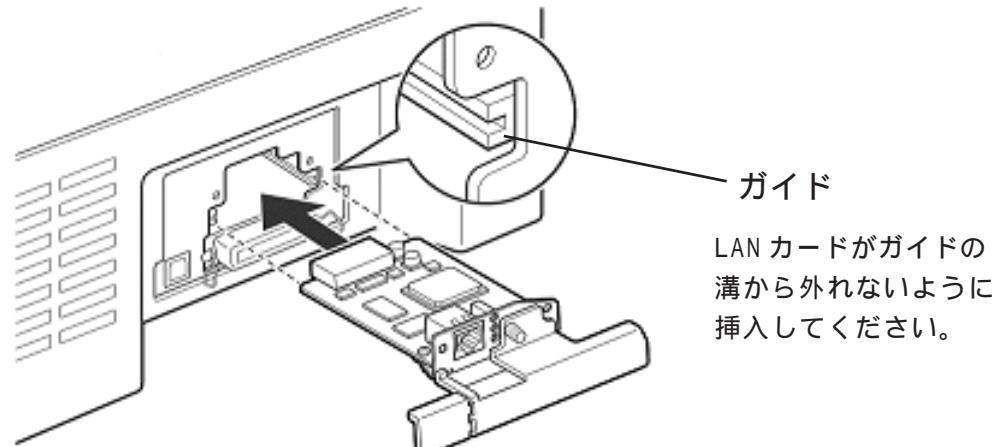
1. プリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードを外した後、プリンタのオプションインターフェースカバーを外します。



電源が入っている状態で本製品を取り付けると、故障の原因になることがあります。



2. 取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付けます。



3. プリンタの電源がOFFになっていることを確認し、電源コードを差し込みます。



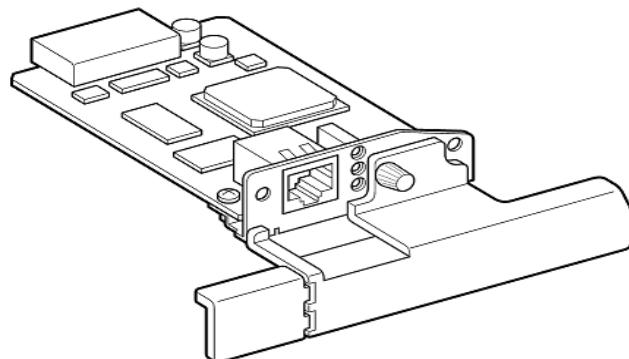
プリンタ本体の基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。
また、故障の原因になるので基板には手を触れないでください。

FMPR3000シリーズへ本製品を取り付ける

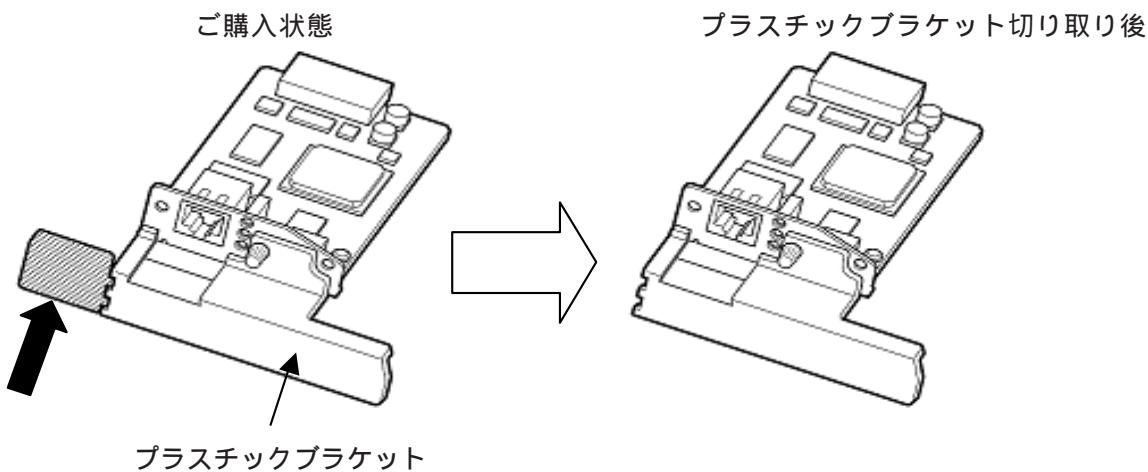


注意

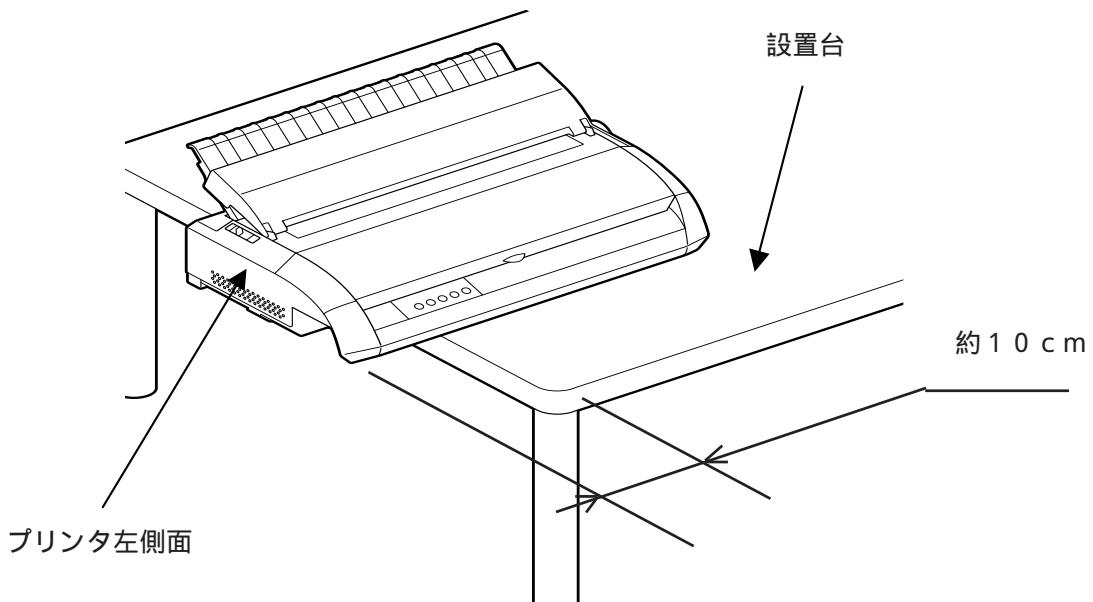
- ・本製品を取り付ける前に、必ずご利用になるプリンタの『取扱説明書』をご確認ください。
- ・本製品を取り付ける際は、必ずプリンタの電源コードを外した状態で行ってください。
- ・本製品を一度でも他のネットワークで利用された場合は、必ず「工場出荷時設定に戻す」作業を行ってください。
- ・本製品のプラスチックブラケット部はご購入状態では下図の形状です。FMPR3000シリーズに取り付ける場合は、プラスチックブラケット部の左端部を切り取った状態で、取り付けをお願いします。
- ・プラスチックブラケットを切り取った本製品を、FMPR5000 シリーズに装着した際に USB ポートが見えますが、使用はできません。



1. 本製品のプラスチックブラケット左端斜線部を矢印方向に手で折って切り取ります。



2. 下図のように設置台の端からプリンタの左側面部を約10cmほどはみ出す位置にプリンタの位置をかえてください。

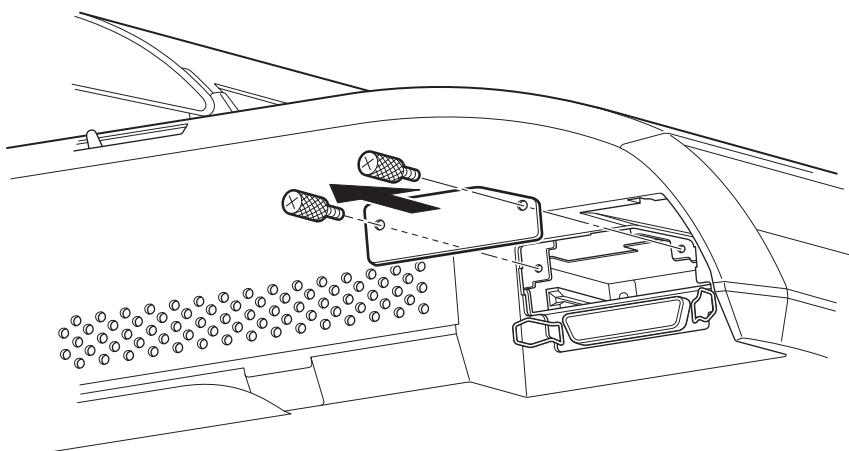


3. プリンタ本体の電源をOFFにし、電源コードを外した後、プリンタのオプションインターフェースカバーを外します。

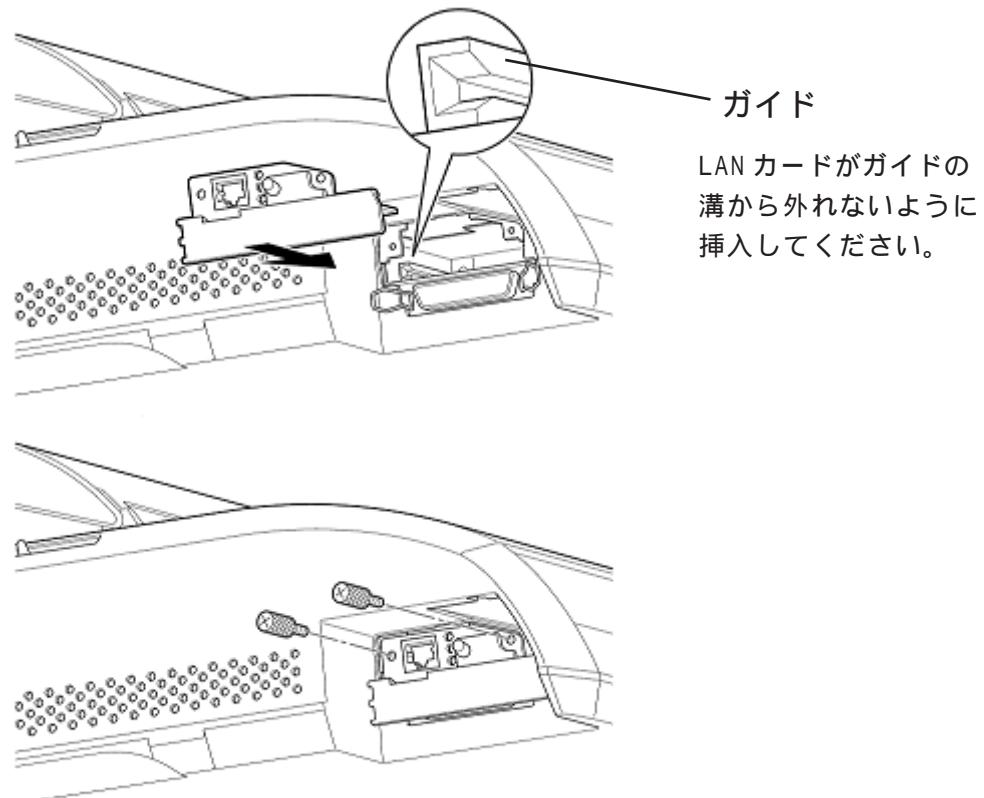


電源が入っている状態で本製品を取り付けると、故障の原因になることがあります。

注意



4. 取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付けます。



5. プリンタの電源がOFFになっていることを確認し、電源コードを差し込みます。



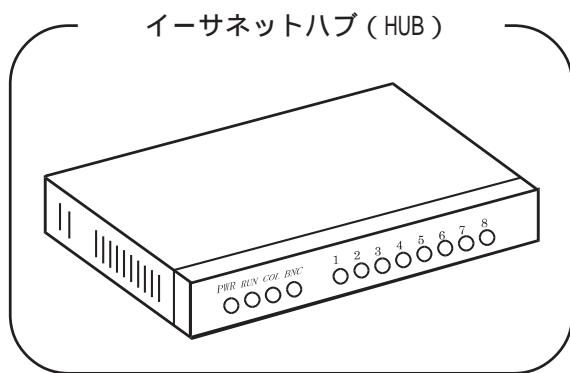
注意 プリンタ本体の基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。
また、故障の原因になるので基板には手を触れないでください。

ネットワークに接続する

本製品をネットワークに接続するために、以下のものをご準備ください。

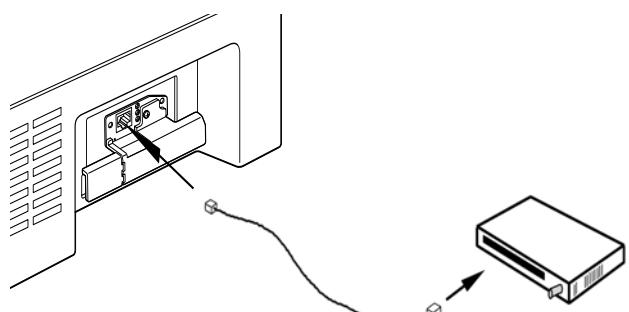


- 100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE対応のイーサネットハブ（HUB）とネットワークケーブル（カテゴリ5またはエンハンスドカテゴリ5）をご用意ください。



<ネットワークへの接続方法>

1. プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。
2. 本製品のネットワークポート（10BASE-T/100BASE-TX）にネットワークケーブルを接続します。
3. イーサネットハブ（HUB）に、ネットワークケーブルのもう一方を接続します。
4. プリンタの電源をONにし、本製品のLINK LEDが点灯することを確認します。



取り外し方法

本製品は、FMPR5000シリーズとFMPR3000シリーズでは取り外し方法が異なります。

ここでは、FMPR5000シリーズからの取り外し方法について説明します。

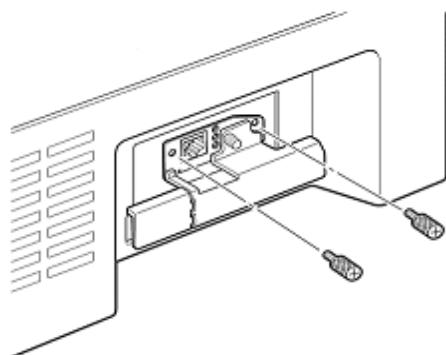
FMPR5000シリーズから本製品を取り外す



注意

- ・本製品を取り外す際は、必ずプリンタの電源コードを外した状態で行ってください。

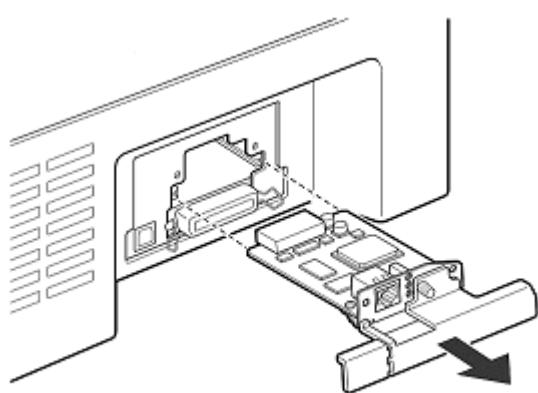
1. プリンタ本体の電源をOFFにし、電源コードを外した後、本製品の固定ネジを外します。



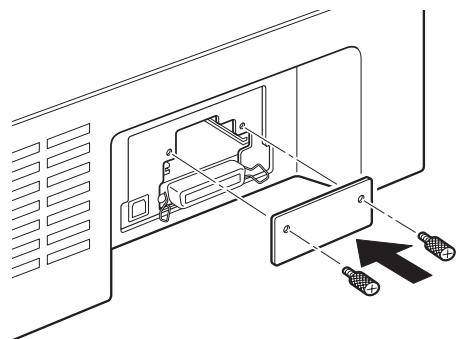
注意

電源が入っている状態で本製品を取り外すと、故障の原因になることがあります。

2. プラスチックブラケットの中央部(下図矢印付近)を持って本製品を取り外します。



3. プリンタのオプションインターフェースカバーを取り付けます。



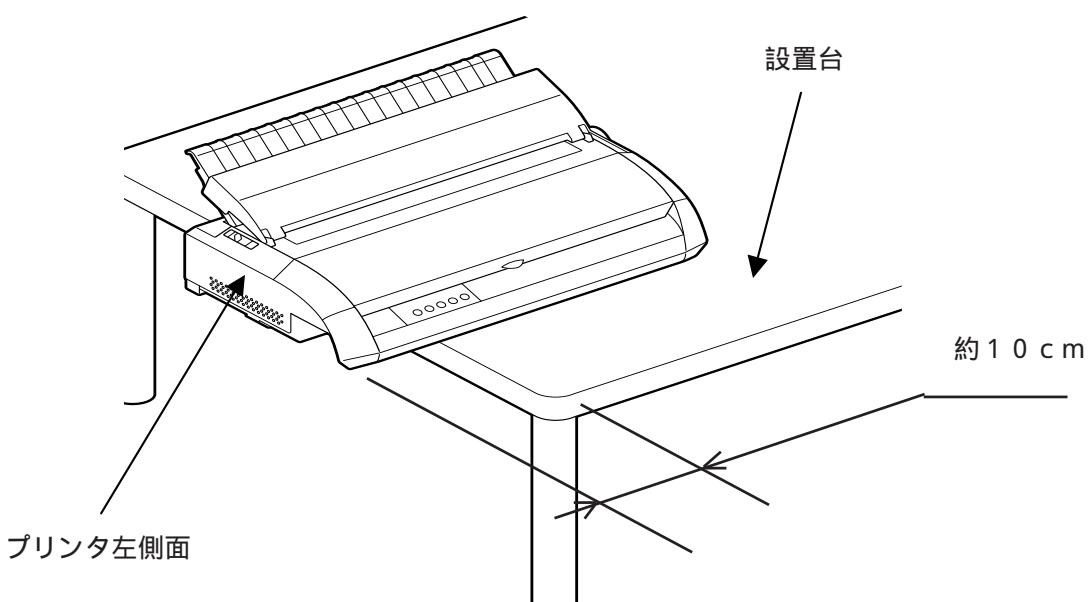
FMPR3000シリーズから本製品を取り外す



・本製品を取り外す際は、必ずプリンタの電源コードを外した状態で行ってください。

注意

1. 下図のように設置台の端からプリンタの左側面部を約 10 cm ほどはみ出す位置にプリンタの位置をかえてください。

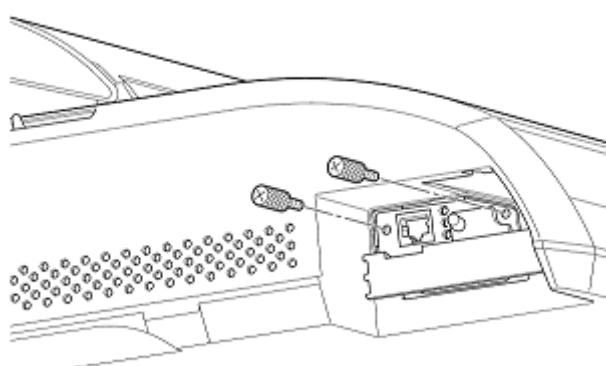


2. プリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードを外した後、本製品の固定ネジを外します。

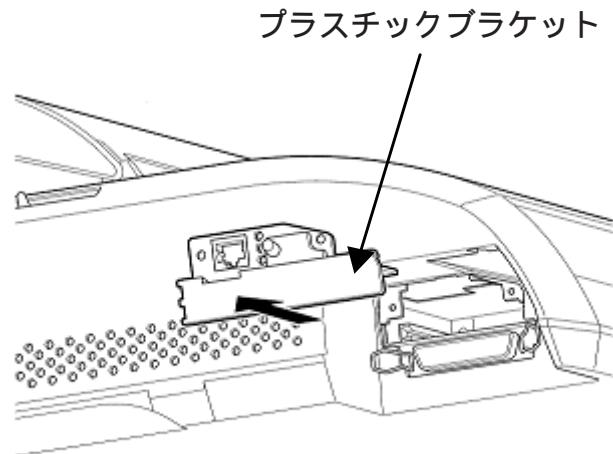


電源が入っている状態で本製品を取り外すと、故障の原因になることがあります。

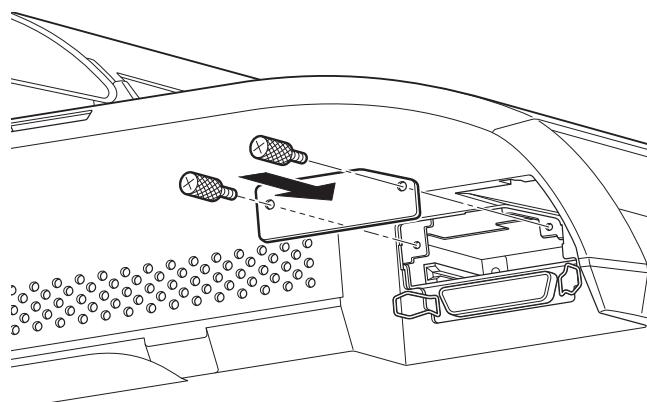
注意



3. プラスチックプラケットの中央部(下図矢印付近)を持って本製品を取り外します。



4. プリンタのオプションインターフェースカバーを取り付けます。



第2章 User Software について

本章では、User Software について説明します。User Software には、本製品の設定ツールおよび総合ユーティリティ、マニュアルが収録されています。Windows環境でご利用いただくことができます。(IPv4のみ)



注意

- UNIX/Linux、NetWare では、User Software はご利用になれません。
- Macintosh には対応していません。
- User Software は、Internet Explorer6.0 以降のブラウザ環境でご使用ください。
- User Software は IPv6 環境には対応しておりません。

User SoftwareをWindowsで使用する

本製品付属のCD-ROM(User Software)をWindowsパソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。



注意

- メニューが自動的に起動しない場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある‘ Autorun.exe ’を直接実行してください。



お読みください

本CD-ROMについての注意事項や、本製品のお問い合わせ先等が記載されています。ご利用の前に必ずお読みください。

セットアップ

本製品の設定ツール (Quick Setup、Advanced Setup) および統合クライアントソフトウェア (PR-Port Monitor) のインストールを行います。

マニュアル

PDF形式のマニュアル (取扱説明書) です。

セットアップについて

メニュー画面の「セットアップ」を選択すると本製品の設定ツールを選択する画面が表示されます。ご利用の設定方法を選択してください。



- ・本製品の初期導入が完了している場合は、PR-Port Managerをお使いのパソコンにインストールするだけで、本製品をご利用いただくことができます。



Quick Setup (初期導入時推奨)

本製品の初期導入がウィザード形式で簡単に行えます。また、初期導入に引き続いで印刷クライアントソフトウェア PR-Port Manager をインストールすることができます。本製品の初期導入を行う方に推奨します。

Advanced Setup

総合ユーティリティ「AdminManager」を起動またはインストールします。「AdminManager」は本製品の詳細設定と、本製品およびプリンタの管理を行うことができます。

PR-Port Manager

Windowsから直接印刷するための印刷クライアントソフトウェアとPopup Status Monitor をインストールします。LPR (弊社製品専用) または IPP を選択することができます。



- ・「AdminManager」と「PR-PortManager」をアンインストールする場合について
『Windows XP/Windows Server 2003』
コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から削除を行ってください。
『Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2』
コントロールパネルの「プログラムと機能」から削除を行ってください。

第3章 Windows XP/Vista/7 /Server 2003/2008/2008 R2のIPv4環境で使用する

本章では、Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2 の IPv4 環境で本製品を接続して、TCP/IP で印刷を行う方法について説明します。

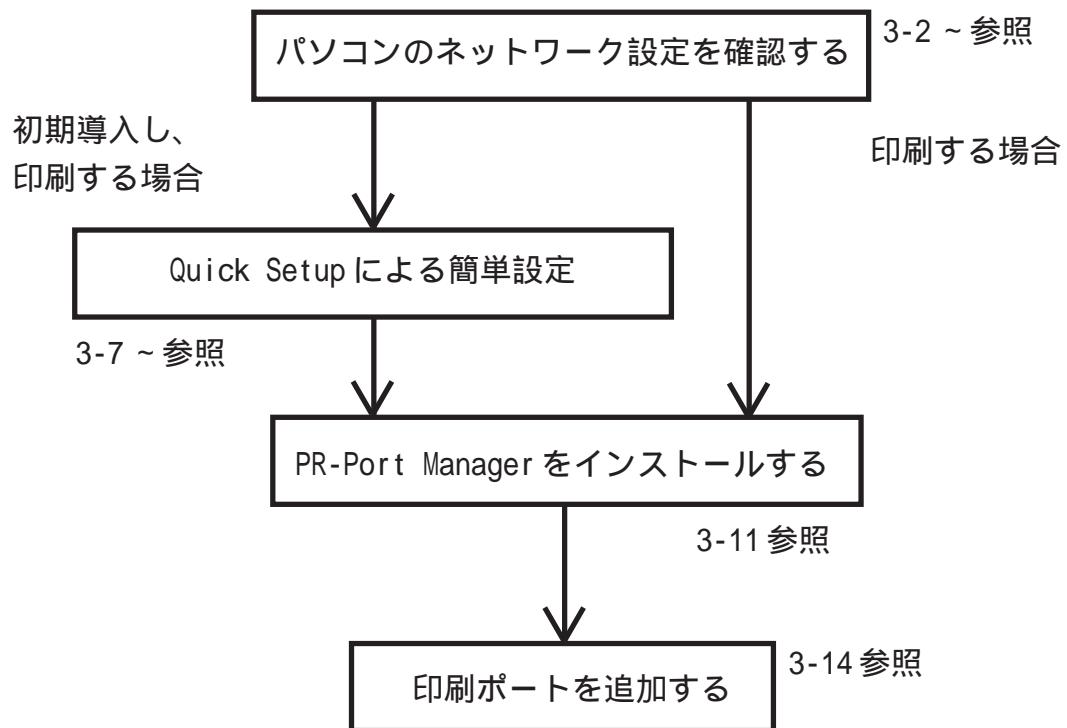
Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2のIPv4環境からTCP/IPで印刷する

本製品を TCP/IP プロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・設定を行うには、Administrator 権限が必要です。
- ・Windows 7/Windows Server 2008 R2 をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。
- ・Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008/2008 R2 の標準の印刷クライアントで印刷を行う場合は、本章中の「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」をご参照ください。

設定および動作の流れ

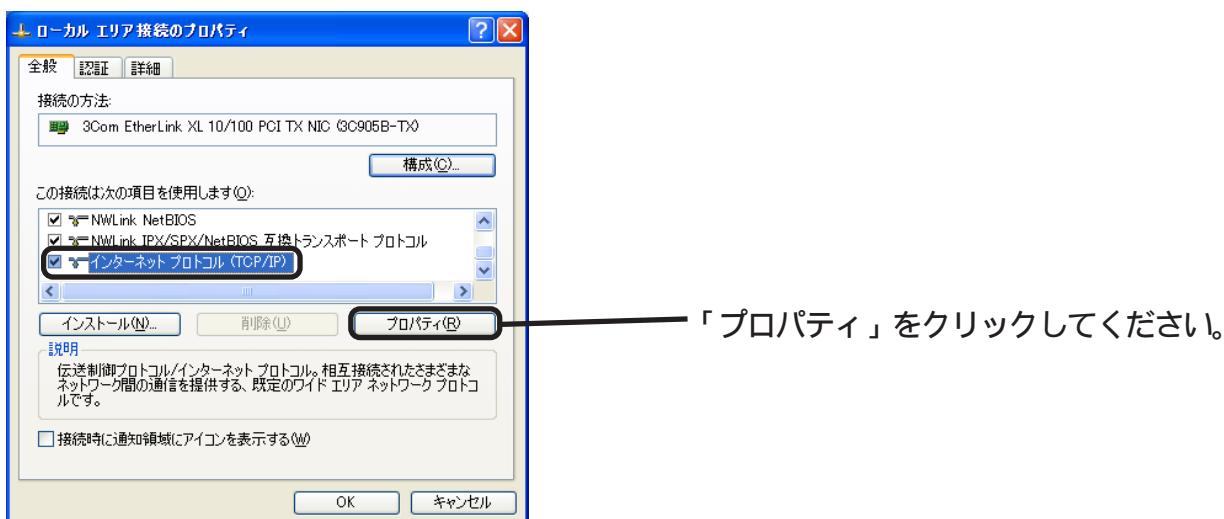


パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows XP の場合

Windows XP に[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワークとインターネット接続」 - 「ネットワーク接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。

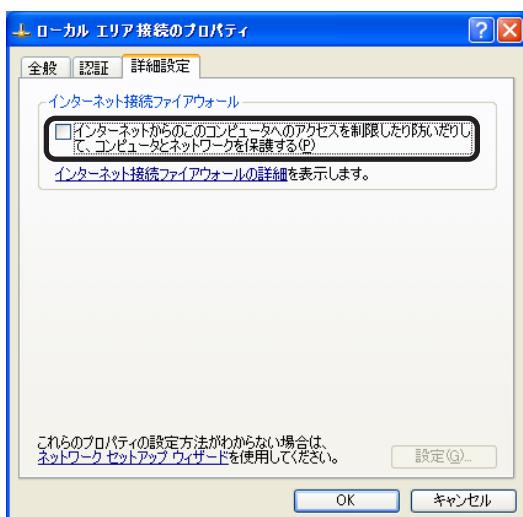


- ・ [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」 - 「プロトコル」 - [インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択し、追加してください。

4. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



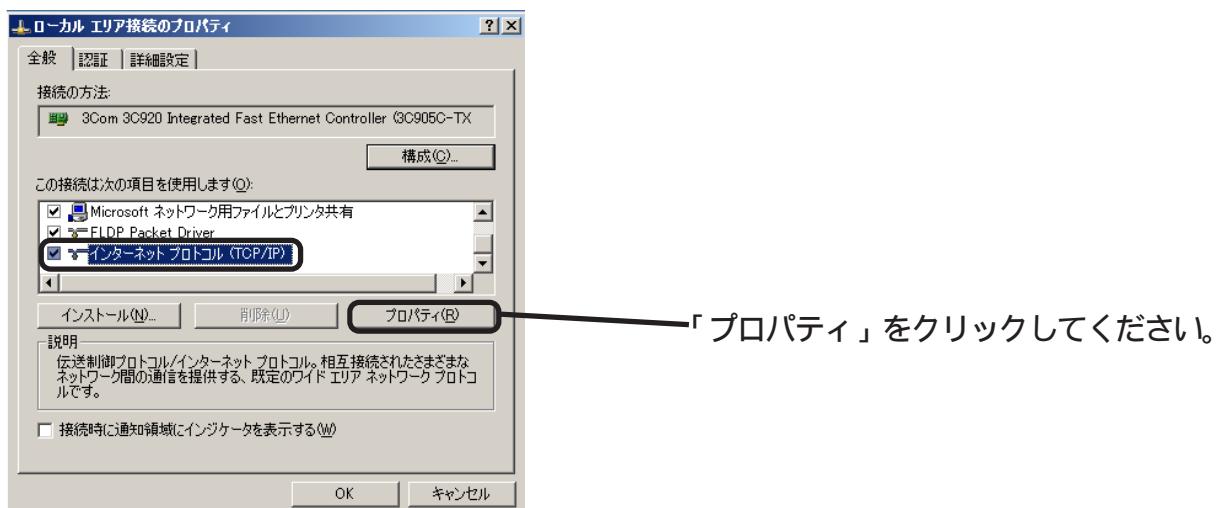
- Windows XP 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」のチェックを外してください。



Windows Server 2003 の場合

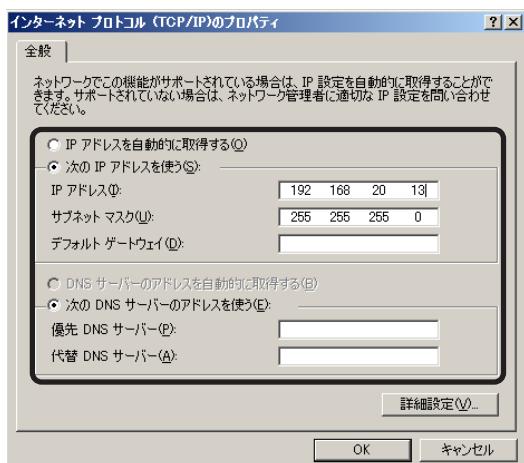
Windows Server 2003 に[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワークの接続」 - 「ローカルエリア接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。

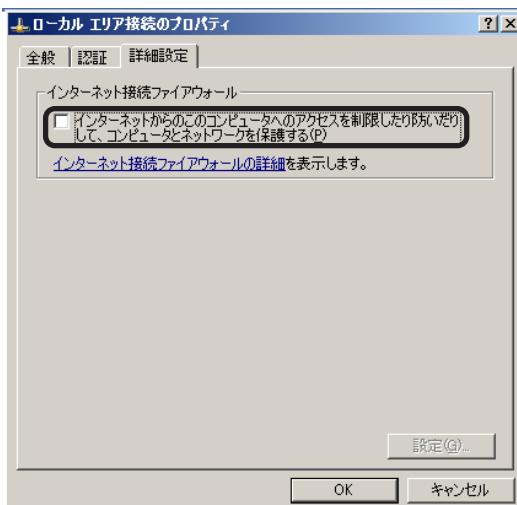


- ・ [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」 - 「プロトコル」 - [インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択し、追加してください。

4. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



- Windows Server 2003 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。



Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の場合

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 に [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」(*1)-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」-「ネットワーク接続の管理」(*2)-「ローカルエリア接続」を選択します。

(*1):画面左下の Windows ロゴを示します。

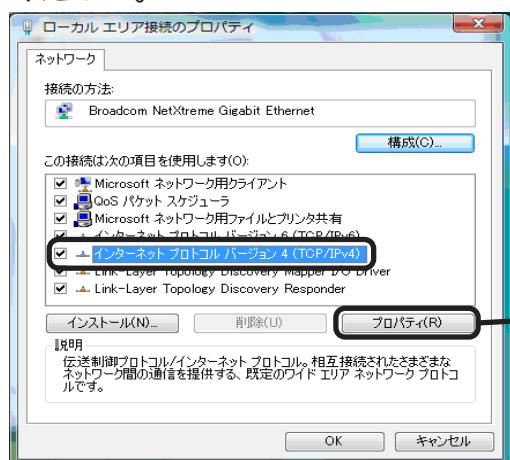
(*2):Windows 7/2008 R2 の場合、「アダプターの設定の変更」になります。

2. 「ローカルエリア接続の状態」のプロパティを開きます。



・「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「続行」を選択してください。

3. [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]が追加されていることを確認してください。

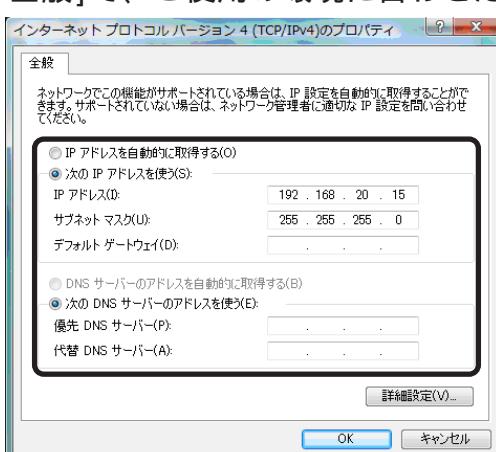


「プロパティ」をクリックしてください。



・[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」-「プロトコル」-[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、追加してください。

4. 「全般」で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



Quick Setupによる簡単設定

1. 本製品付属のCD-ROM(User Software)をWindowsパソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。



「セットアップ」をクリックしてください。



・Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「自動再生」画面が表示されますので「AUTORUN.EXE の実行」を選択してください。

注意

2. セットアップ方法の選択画面が開きます。



「Quick Setup」をクリックしてください。



- ・Windows Vista/Server 2008をご利用の場合は、「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「許可」を選択してください。
- ・Windows XP(SP2以降)/7/Server 2003/2008 R2の環境では下記のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。
「このアプリケーションを使用するには、Windows ファイアウォールの例外リストに登録する必要があります。 アプリケーションを例外リストに登録しますか?」

3. Quick Setup が起動します。



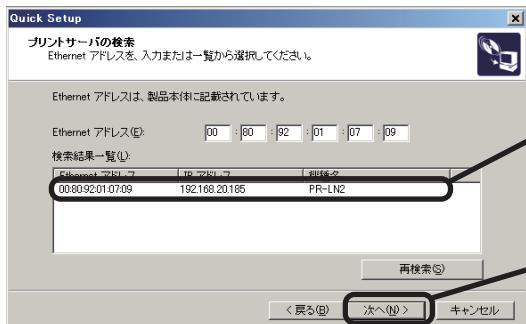
次へ をクリックしてください。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

5. 本製品を選択します。



設定を行う本製品を選択してください。

次へ をクリックしてください。

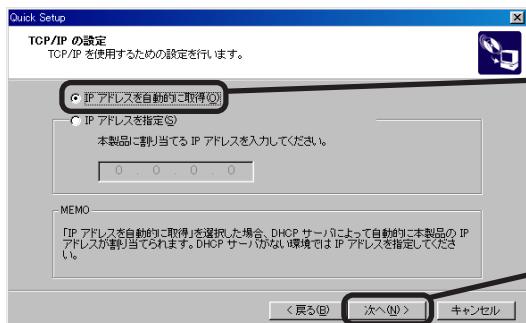


- Ethernet アドレスは、本製品のシール表示を確認してください。
- 検索結果一覧に本製品が表示されていない場合は「再検索」をクリックしてください。
Ethernet アドレスを直接入力することで本製品を選択することもできます。

6. IP アドレスを設定します。

<ご使用の環境内に DHCP サーバがある場合>

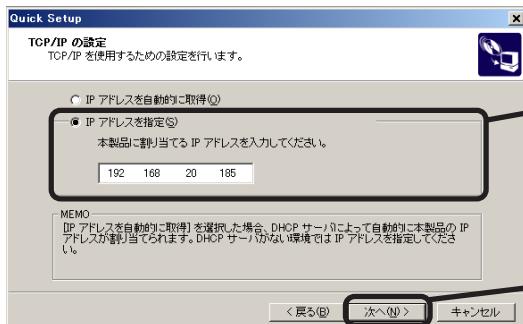
(A) DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する



「IP アドレスを自動的に取得する」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

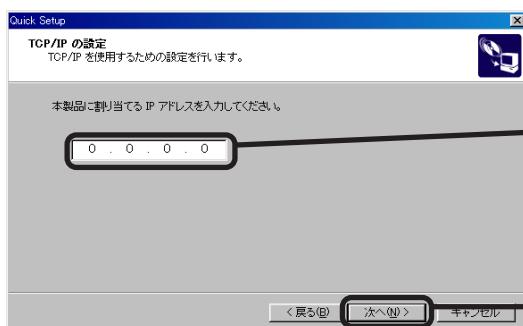
(B) 手動でIPアドレスを設定する



任意のIPアドレスを設定することができます。

次へ をクリックしてください。

<ご使用の環境内に DHCP サーバが無い場合>



任意のIPアドレスを指定してください。

次へ をクリックしてください。

7. 設定項目を確認します。



実行 をクリックしてください。

8. 設定完了です。



「はい」を選択してください。
既にPR-Port Managerをインストール済みのお客様は「いいえ」を選択してください。

完了 をクリックしてください。



- ・引き続き PR-Port Manager をインストールしてください。PR-Port Manager は Windows から直接印刷を行うための印刷クライアントソフトウェアです。
- ・Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2 の環境で、OS 標準の印刷機能をご利用になる場合は、本章中の「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」をご参照ください。

PR-Port Managerをインストールする

Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2 の環境で、本製品を利用してTCP/IPプロトコルで直接印刷を行うために、本製品に付属しているPR-Port Managerをご利用になります。PR-Port Managerは、LPR機能（弊社製品専用）IPP機能がご利用いただける印刷クライアントソフトウェアと、Popup Status Monitorが収録されています。インストールが完了すると、プリンタポート追加ウィザードが起動します。



- LPR (Line Printer Remote) 機能

ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。

- IPP (Internet Printing Protocol) 機能

インターネットを経由して遠隔地のネットワークプリンタに印刷することができます。

- Popup Status Monitor

プリンタの状態をパソコン画面にポップアップして表示する便利なモニタです。詳細は「第6章 Popup Status Monitor」をご参照ください。

- プリンタ本体に添付されているFMPRユーティリティ(FMPR5110リモートパネル、FMPR5110/5010リモートパネル、FMPR5610/5410リモートパネル、FMPR3000リモートパネル)を使用する場合には、以下の条件で印刷ポートを作成してください。

- PR-PortManager の LPR ポートを作成する。(PR-PortManager の IPP ポートは対応しておりません)

- ポート名は、初期状態 (xxx.xxx.xxx.xxx:Ip) としてください。
(IPアドレス)

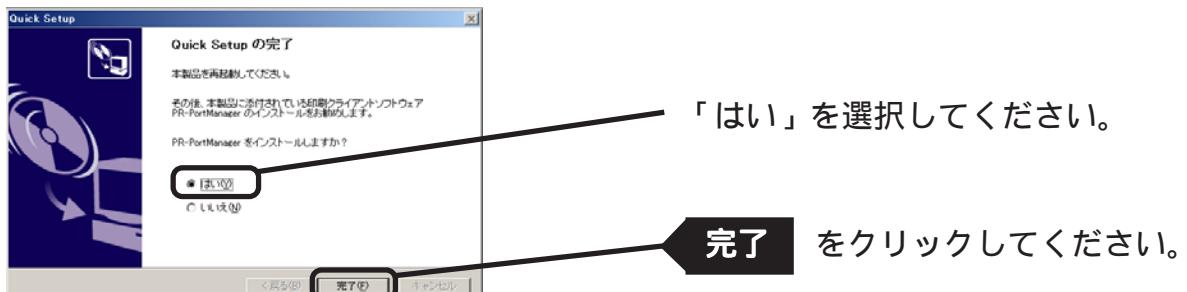


- IPP (Internet Printing Protocol) 機能では「Popup Status Monitor」をご利用することができません。

注意

1. インストール方法を確認します。

(A) Quick Setup から続いてインストールする場合



「はい」を選択してください。

「完了」をクリックしてください。

(B) PR-Port Manager のみインストールする場合



付属CD-ROMをセットし、「メインメニュー」-「Setupメニュー」から「PR-Port Manager」を選択してください。



・Windows Vista/Server 2008をご利用の場合は、「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「許可」を選択してください。

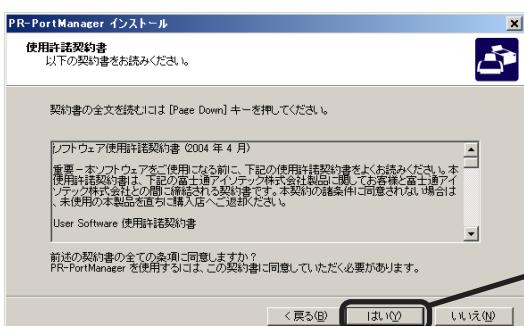
注意

2. PR-Port Manager インストールウィザードが起動します。



次へ をクリックしてください。

3. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

4. インストール先のフォルダを指定します。



次へ をクリックしてください。



・[参照]をクリックするとインストール先フォルダを選択できます。

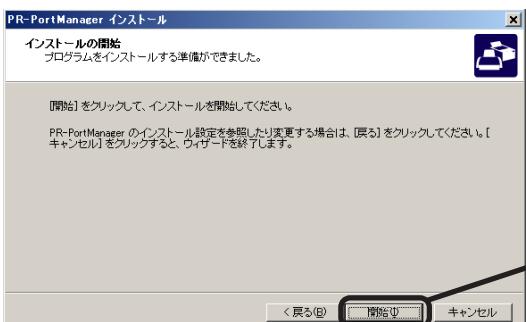
参考

5. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



次へ をクリックしてください。

6. インストールを開始します。



開始 をクリックしてください。



・Windows XP(SP2 以降)/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 の環境では下記のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。
「このアプリケーションを使用するには、Windows ファイアウォールの例外リストに登録する必要があります。 アプリケーションを例外リストに登録しますか?」

注意

7. インストール完了です。



「はい」を選択してください。

ポートの設定を行わない場合は
「いいえ」を選択してください。

完了 をクリックしてください。

印刷ポートを追加する

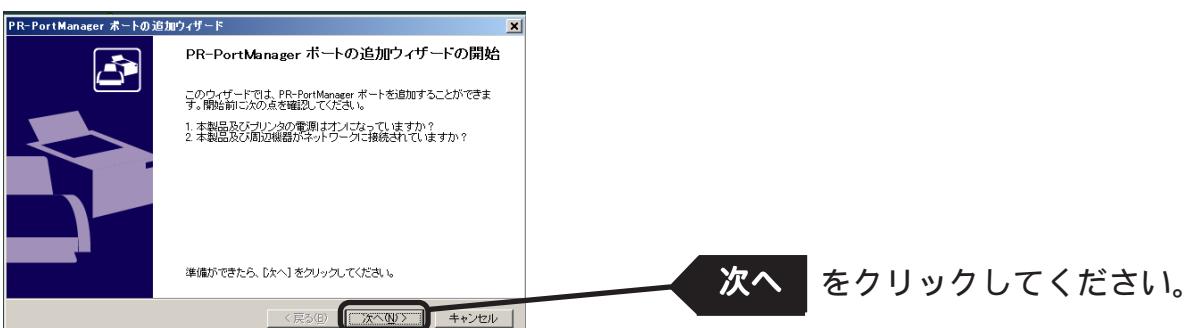
本製品ではPR-Port Managerの、「LPRで印刷する」「IPPで印刷する」の2つのポート作成方法をご利用いただけます。印刷に使用するプロトコルを選択し、「次へ」をクリックすると、各印刷方式のポート作成画面へ移ります。

(A)

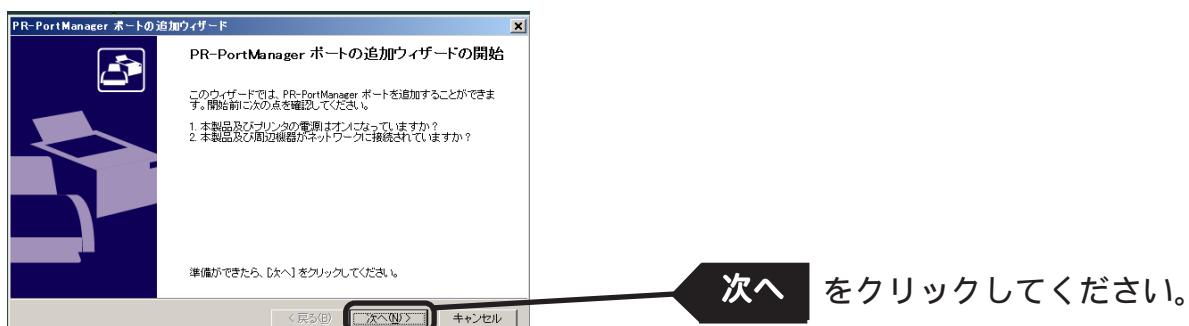
1.PR-Port Manager インストールから続いて追加する。



2.PR-Port Manager ポート追加ウィザードが開始します。



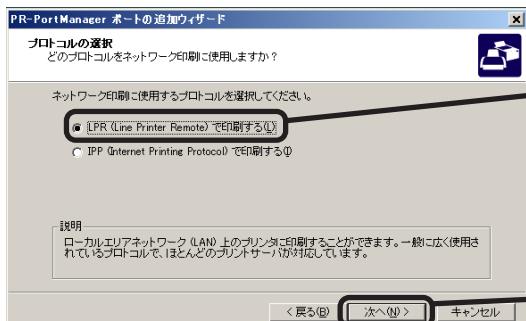
(B)「スタート」 - 「プログラム」 - 「PR-Port Manager」にある「PR-Port Manager ポート追加」から追加する。



- Windows Vista/Server 2008をご利用の場合は、「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「許可」を選択してください。
- Windows Vista/7/Server 2008 R2をご利用の場合は、「スタート」は画面左下のWindowsロゴを示します。

PR-Port Manager LPR ポートを追加する場合

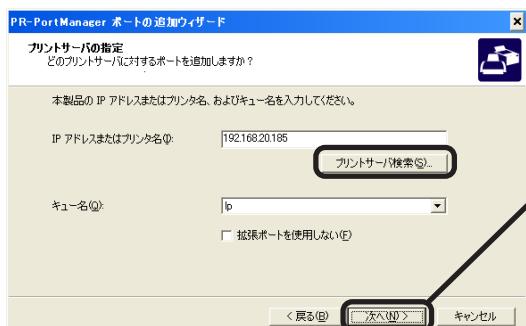
1. LPR(Line Printer Remote)を選択します。



「LPR (Line Printer Remote) で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

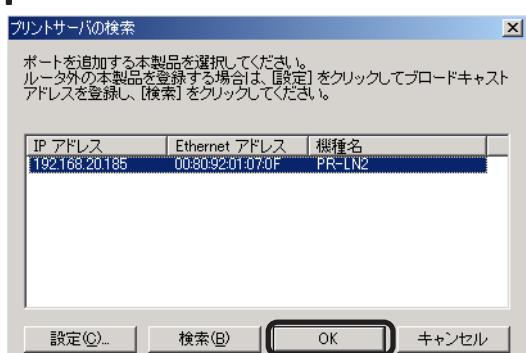
2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバの一覧を表示させ、本製品を選択してください。キュー名は「lp」を選択してください。



次へ をクリックしてください。

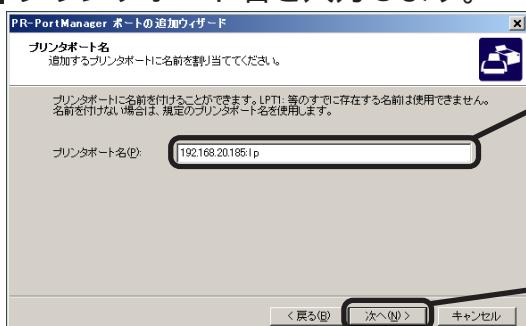
IP アドレスを直接入力することで、本製品を選択することもできます。

3. ポートを選択して「OK」をクリックしてください。



- Ethernet アドレスは、本製品のシール表示を確認してください。
• お使いのプリンタの IP アドレスを特定するには、「AdminManager」を用いて確認してください。

4. プリンタポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

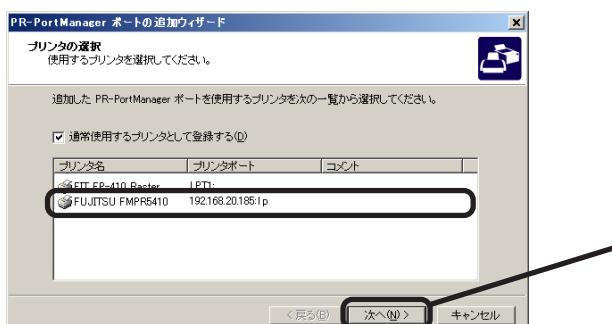
次へ をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

6. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

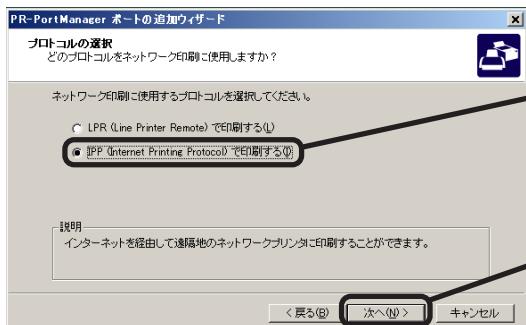
7. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

PR-Port Manager IPP ポートを追加する場合

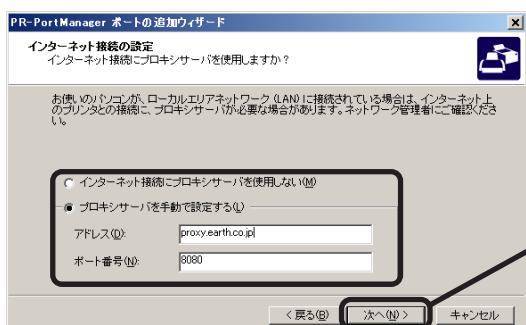
1. IPP(Internet Printing Protocol)を選択します。



「IPP(Internet Printing Protocol)で印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

2. 「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」又は、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択してください。



「次へ」をクリックしてください。



- ・プロキシサーバを使用しないネットワークの場合は「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」を選択してください。
- ・Internet Explorerで使用しているプロキシサーバとは別なプロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択してください。

3. 「プリンタ URL」には、印刷先の本製品に割り当てられた URL を入力してください。 本製品の IPP プリンタ URL は、"/ipp" 又は "/ipp/lp" です。



「次へ」をクリックしてください。

例) URLが「abc.co.jp」の場合

http://abc.co.jp/ipp/lp

例) IPアドレスが「192.168.20.185」の場合

http://192.168.20.185/ipp/lp



- ・「次へ」をクリックすると、指定された URL が存在するか、確認されます。

4. 印刷先のポート名を設定します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

次へ をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

6. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

7. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定方法を説明します。

例) Windows XP Professionalの場合

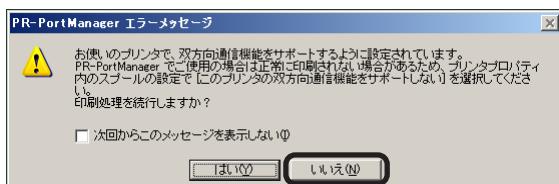


- ・プリンタドライバの設定を行わない場合、次のエラー画面が表示されることがあります。



「いいえ」を選択し、下記の手順でプリンタドライバの設定を行ってください。

- ・プリンタドライバ設定後、印刷がうまくできない場合は、パソコンを再起動してください。



1. 「スタート」 - 「プリンタとFAX」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



「プロパティ」を選択してください。



- ・Windows XP Home Editionをご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」とその他のハードウェア」 - 「プリンタとFAX」を開いてください。



- ・Windows Vista/Server 2008をご利用の場合は、「スタート」(*1) - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」を開いてください。 (*1):画面左下のWindowsロゴを示します。

- ・Windows 7/Server 2008 R2をご利用の場合は、「スタート」(*2) - 「デバイスとプリンター」を開いて使用するプリンターの「プリンターのプロパティ」を開いてください。

(*2):画面左下のWindowsロゴを示します。

2.[ポート]を選択します。



[ポート]を選択してください。

3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずしてください。



・Windows Vista/Server 2008をご利用の場合は、環境により設定ができない場合は、使用する
プリンタの「管理者として実行」 - 「プロパティ」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」
が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「続行」を選択して
ください。

4. 設定完了です。



適用 をクリックしてください。

プリンタポートの設定項目

LPRポートの場合

PR-PortManagerでLPRポートを設定しているプリンタのプロパティ画面で[ポートの構成]をクリックすると、LPRポートの設定を行うことができます。

タブ	項目	設定内容	初期設定
基本設定	IPアドレスまたはプリンタ名	印刷先のIPアドレスまたはプリンタ名を入力します。(半角で最大64文字)	なし
	キュー名	印刷先のキューを選択します。	なし
	タイムアウト値	データ送受信時の通信タイムアウト値を設定します。入力できる範囲は、60~3600秒です。	900
	拡張ポートを使用しない	拡張ポート(1024番以降の任意のポート)を使用しません。使用ポートを11個(721番から731番まで)に制限する場合にチェックします。	使用する
	バージョン	バージョン情報を表示します	なし

IPPポートの場合

PR-PortManagerでIPPポートを設定しているプリンタのプロパティ画面で[ポートの構成]をクリックすると、IPPポートの設定を行うことができます。

タブ	項目	設定内容	初期設定	
基本設定	プリンタURL	印刷先のプリンタURLを入力します。(半角で最大256文字)	なし	
	タイムアウト値	データ送受信時の通信タイムアウト値を設定します。入力できる範囲は、60~3600秒です。	180	
	インターネット接続にプロキシサーバを使用しない	インターネット接続にプロキシサーバを使用しません。	なし	
	プロキシサーバを手動で設定する	手動で設定したプロキシサーバを使用してインターネットに接続します。この項目を選択するとプロキシサーバのアドレスとポート番号が入力可能になります。アドレスは、半角で最大256文字まで入力可能です。	なし	
	バージョン	バージョン情報を表示します	なし	
詳細	ユーザー認証	サポートしていません。	なし	
	言語	IPP AttributesのNatural Language attributesを選択します。使用しているWindowsの言語により初期設定を行います。一覧にない言語は、英語(U.S.)となります。	なし	
	高度な設定	Chunked Encodingを使用する	データ送信にChunked Encoding機能を使用します。この機能を使用するには、通信先のサーバも同機能に対応している必要があります。対応していない場合、印字化け、プロキシサーバからのアクセス拒否等が発生する場合があります。	使用しない
	Max Chunkサイズ	チャンクサイズの最大データサイズを指定します。入力できる範囲は、1024~16384です。	4096	

OS標準の印刷クライアント機能で印刷する

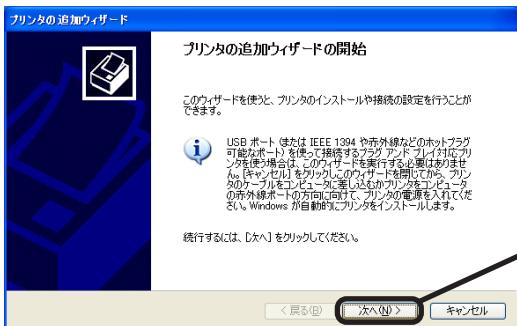
PR-Port Managerを使用せず、OS標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2のStandard TCP/IPポートで印刷する



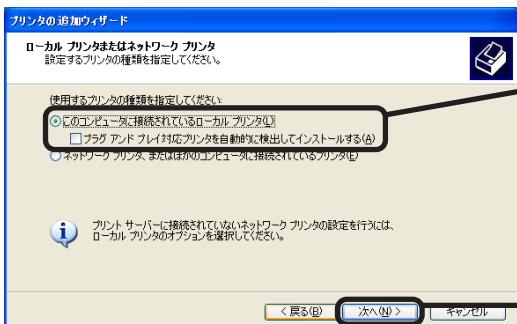
- 以下の説明は、Windows XP Professional の画面で行っておりますので、Windows XP Home Edition、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2をご利用の場合、画面が異なります。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
- プリンタ本体に添付されている FMPR ユーティリティ(FMPR5110 リモートパネル、FMPR5110/5010 リモートパネル、FMPR5610/5410 リモートパネル、FMPR3000 リモートパネル)は OS 標準ポートには対応しておりません。

1.「スタート」-「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



- Windows XP Home Editionをご利用の場合は、「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「プリンタとFAX」-「プリンタのインストール」をクリックしてください。
- Windows Server 2003をご利用の場合は、「スタート」-「プリンタとFAX」-「プリンタの追加」をクリックしてください。
- Windows Vistaをご利用の場合は、「スタート」(*1)-「コントロールパネル」-「プリンタ」-「プリンタのインストール」をクリックしてください。 (*1):画面左下の Windows ロゴを示します。
- Windows Server 2008をご利用の場合は、「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタ」-「プリンタの追加」で「管理者として実行」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」を選択してください。
- Windows 7/Server 2008 R2をご利用の場合は、「スタート」(*2)-「デバイスとプリンター」-「プリンターの追加」をクリックしてください。 (*2):画面左下の Windows ロゴを示します。

2.設定するプリンタの種類を選択します。



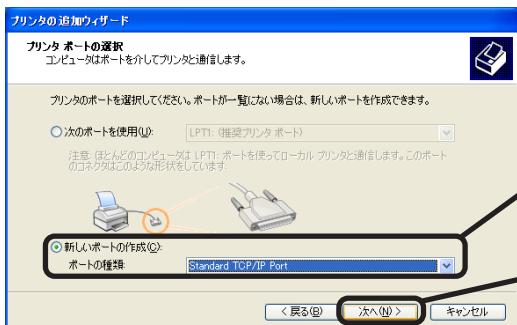
「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「Sharing and printer sharing options (A)」をチェックを外してください。

次へ をクリックしてください。



- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

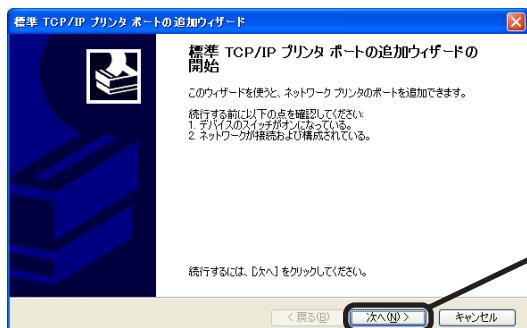
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

次へ をクリックしてください。

4. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが開始します。

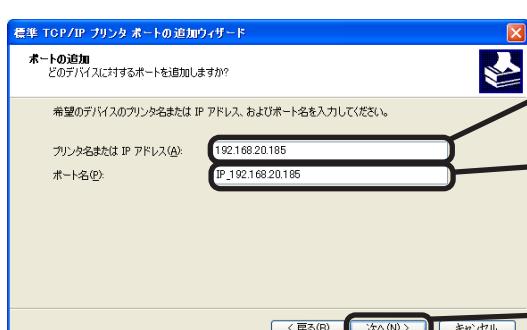


次へ をクリックしてください。



- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「4.」、「8.」の画面は表示されません。

5. プリンタポートを追加します。



本製品に設定したIPアドレスを入力してください。

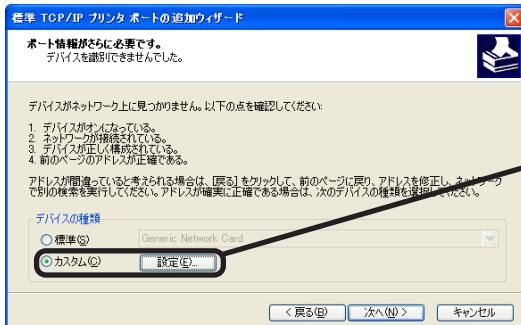
名前を付けない場合は、既定値(IP_xxx.xxx.xxx.xxx)をご使用ください。

次へ をクリックしてください。



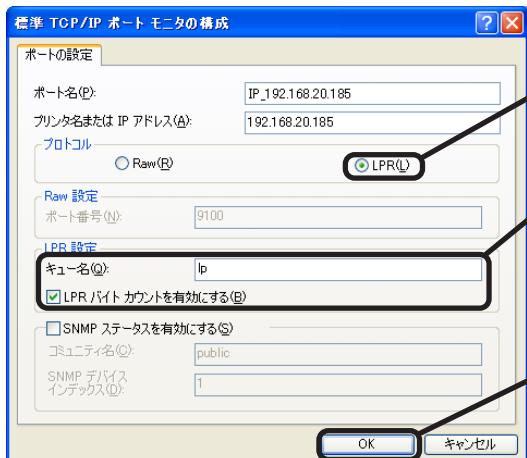
- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ホスト名またはIPアドレス」に本製品に設定したIPアドレスを入力してください。ポート名を規定値にした場合、「IP_」は付きません。「デバイスの種類」は「自動検出」、「プリンタを照会して、使用するプリンタドライバを自動的に選択する」はチェック状態としてください。

6. デバイスの種類を決定します。



「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックしてください。

7. ポート情報を入力します。



「LPR」にチェックを入れてください。

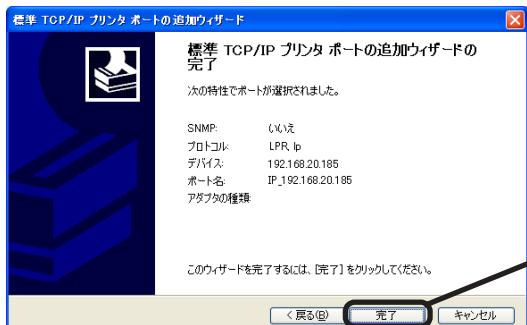
キュー名は「lp」を入力し、「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れてください。

OK をクリックしてください。



・「OK」をクリックすると「6 .」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

8. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

9. プリンタドライバを選択します。

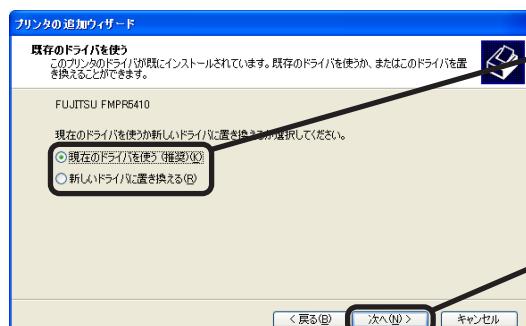


ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ

をクリックしてください。

10. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

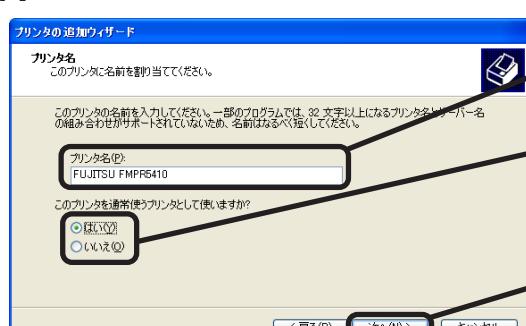
次へ

をクリックしてください。



・最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

11. プリンタ名を登録します。



プリンタ名の登録を行います。

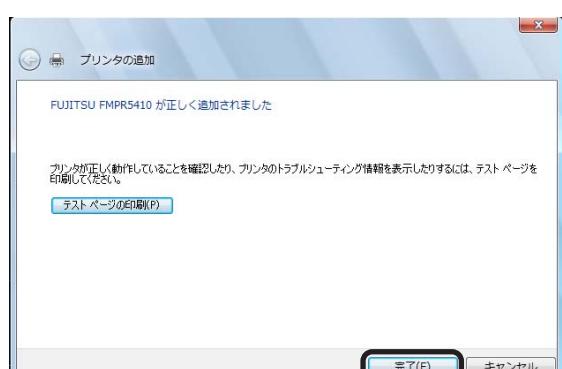
このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

次へ

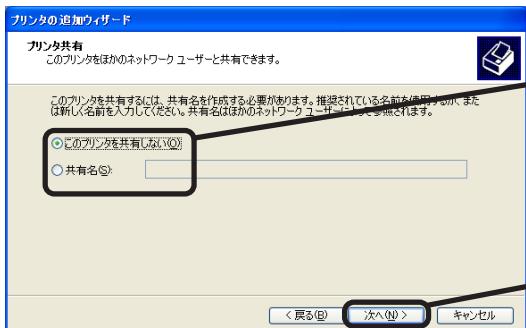
をクリックしてください。



・Windows Vista/7をご利用の場合は、
「次へ」をクリックすると右の画面と
なります。
「完了」をクリックしてください。
設定完了です。



12. プリンタを共有するかを選択します。



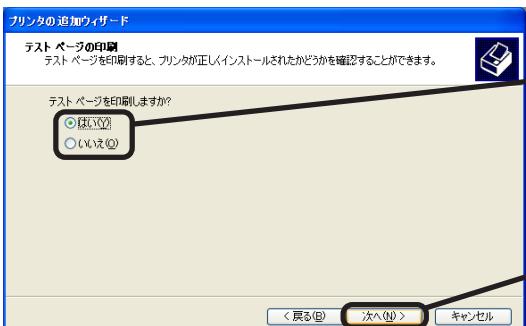
プリンタを「共有する」か「共有しない」かを選択してください。

次へ をクリックしてください。



- 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。
- Windows Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「次へ」をクリックすると設定完了画面になります。「完了」をクリックしてください。画面については、「3-25(11.)」を参照してください。

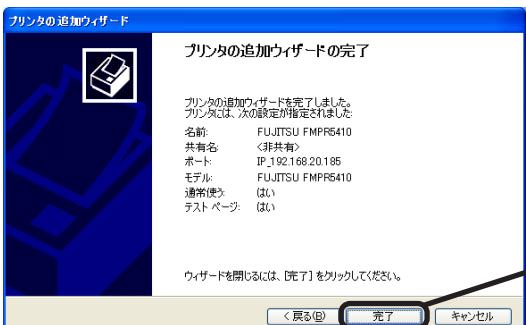
13. テストページを印刷するかを選択します。



テストページを印刷する場合は、
「はい」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

14. 設定を確認します。



完了

をクリックしてください。

15. 「13.」で「はい」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に 출력されれば、設定完了です。

16. プリンタドライバのポート設定で「双向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2のLPRポートで印刷する



注意

- LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は LPR Port を追加する必要があります。「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラムの追加と削除」を開き、「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックします。「Windows コンポーネントウィザード」を表示させ、「コンポーネント」 - 「そのほかのネットワークファイルと印刷サービス」 - 「詳細」 - 「UNIX 用印刷サービス」を選択し、OK ボタンをクリックします。次へ進み「Windows コンポーネントウィザード」が表示され、コンポーネントの追加が終わりましたら完了ボタンをクリックしてください。これで LPR Port の追加は完了です。

Windows Vista の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示されます。「続行」を選択してください。Windows の機能画面で、「印刷サービス」 - 「LPR ポート印刷」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。

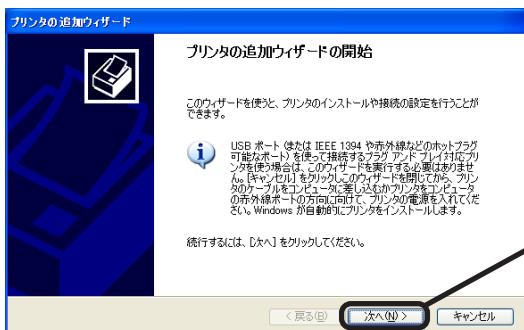
Windows 7 の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。Windows の機能画面で、「印刷とドキュメントサービス」 - 「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。

Windows Server 2008/2008 R2 の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。

「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示されます。「続行」を選択してください。Windows Server 2008 R2 の場合は、「はい」を選択してください。サーバーマネージャの「機能の概要」 - 「機能の追加」 - 「LPR ポートモニタ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。インストールオプションの確認で「インストール」をクリックしてください。「インストールが正常に完了しました」が表示されたら「閉じる」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。

- 以下の説明は、Windows XP Professional の画面で行っておりますので、Windows 2000、Windows XP Home Edition、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2 をご利用の場合、画面が異なります。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することはできません。

1. 「スタート」 - 「プリンタとFAX」を開きます。「プリンタのインストール」をクリックします。



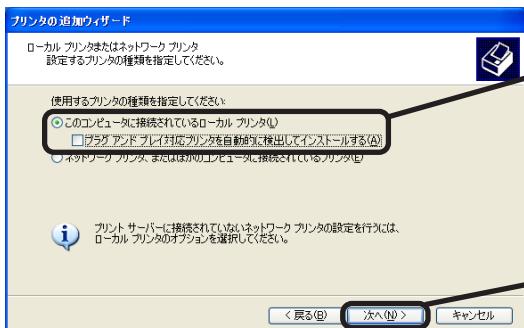
次へ

をクリックしてください。



- Windows XP Home Editionをご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタとその他のハードウェア」 - 「プリンタとFAX」 - 「プリンタのインストール」をクリックしてください。
- Windows Server 2003をご利用の場合は、「スタート」 - 「プリンタとFAX」 - 「プリンタの追加」をクリックしてください。
- Windows Vistaをご利用の場合は、「スタート」(*1) - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタのインストール」をクリックしてください。 (*1):画面左下のWindowsロゴを示します。
- Windows Server 2008ご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタの追加」で「管理者として実行」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」を選択してください。
- Windows 7/Server 2008 R2ご利用の場合は、「スタート」(*2) - 「デバイスとプリンター」 - 「プリンターの追加」をクリックしてください。 (*2):画面左下のWindowsロゴを示します。

2. 設定するプリンタの種類を選びます。



「このコンピュータに接続されている
ローカルプリンタ」を選択し、「
プラ
グ アンド プレイ対応プリンタを…」
のチェックを外してください。

次へ

をクリックしてください。



- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「LPR Port」を選択してください。

次へ

をクリックしてください。

4. LPR 互換プリンタを追加します。

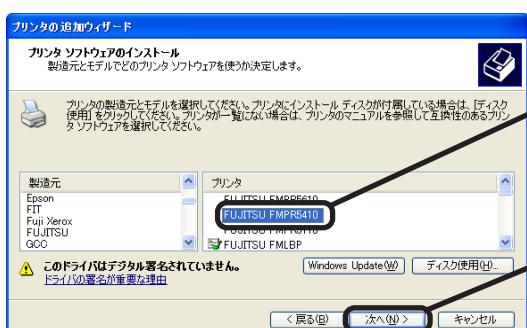


本製品に設定したIPアドレスと
「Ip」を入力してください。

OK

をクリックしてください。

5. プリンタのドライバを選択します。

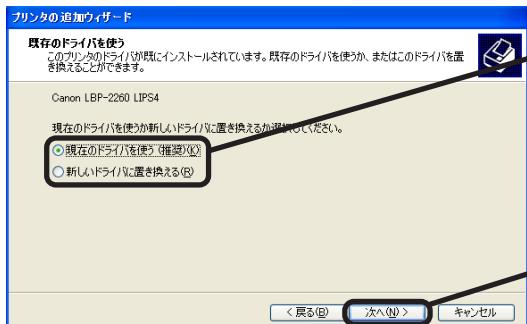


ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ

をクリックしてください。

6. プリンタドライバを確認します。



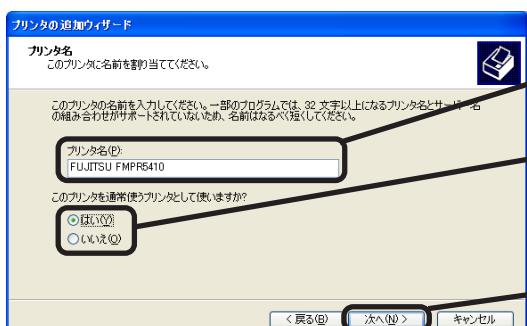
「現在のドライバを使う」か、「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



- 最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

7. プリンタ名を登録します。



プリンタ名を入力してください。

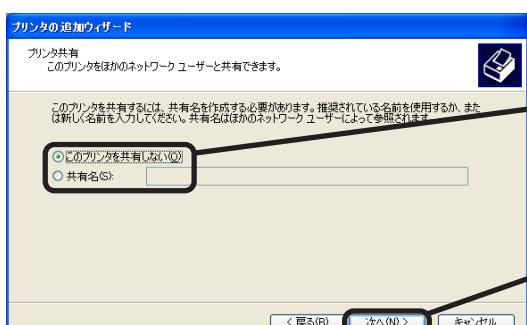
このプリンタを通常使うプリンタとするかを選択してください。

次へ をクリックしてください。



- Windows Vista/7をご利用の場合は、「次へ」をクリックすると設定完了画面になります。「完了」をクリックしてください。画面については、「3-25(11.)」を参照してください。

8. プリンタを共有するかを選択します。



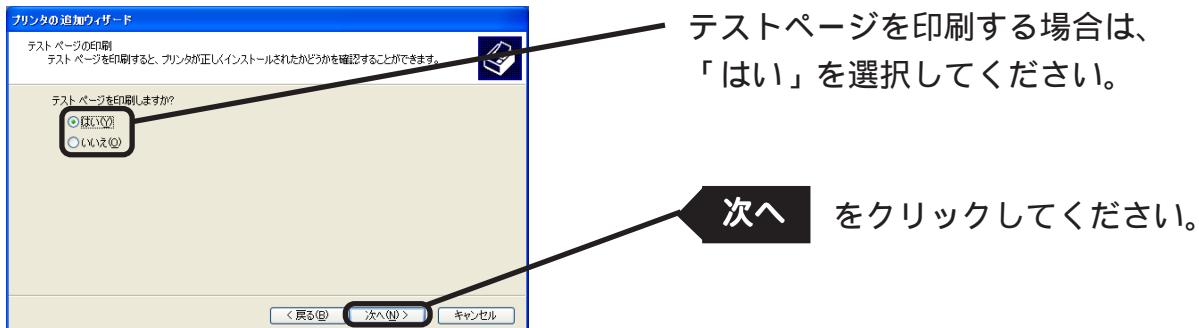
プリンタを「共有する」か「共有しない」かを選択してください。

次へ をクリックしてください。

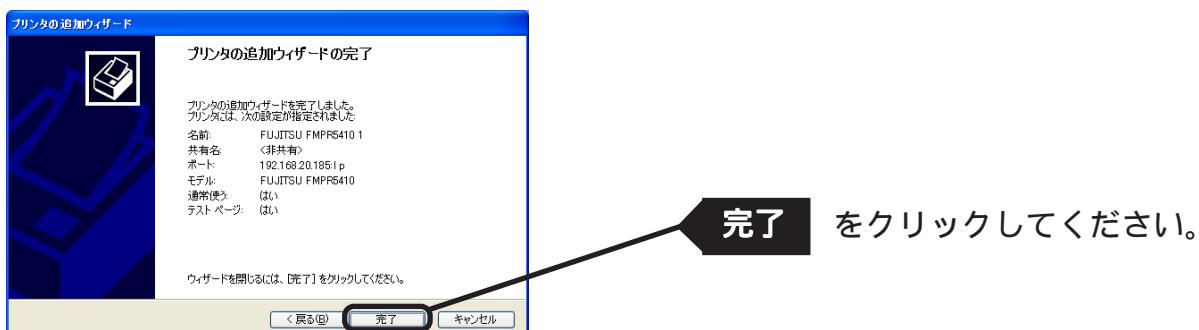


- 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。
- Windows Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「次へ」をクリックすると設定完了画面になります。「完了」をクリックしてください。画面については、「3-25(11.)」を参照してください。

9. テストページを印刷するかを選択します。



10. 設定内容を確認します。



11. 「9.」で「はい」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。

12. プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

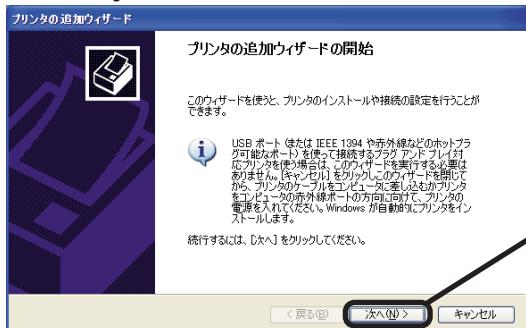
13. プリンタドライバの詳細設定で「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択してください。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/2008/2008 R2のIPPポートで印刷する



- Windows Server 2008/2008 R2ご利用の場合は、「インターネット印刷クライアント」機能がインストールされている必要があります。あらかじめインストールしてください。
- 以下の説明は、Windows XP Professional の画面で行っておりますので、Windows XP Home Edition、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2をご利用の場合、画面が異なります。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
- プリンタ本体に添付されているFMPR ユーティリティ (FMPR5110 リモートパネル、FMPR5110/5010 リモートパネル、FMPR5610/5410 リモートパネル、FMPR3000 リモートパネル) は IPP ポートには対応しておりません。

1. 「スタート」 - 「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。

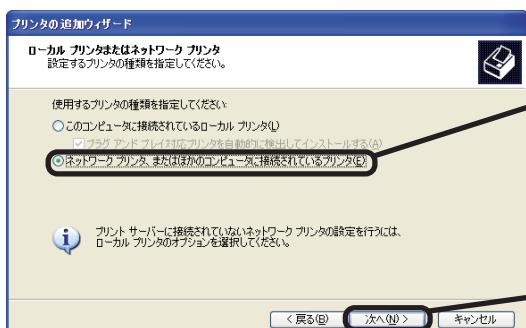


次へ をクリックしてください。



- Windows XP Home Editionをご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタとその他のハードウェア」 - 「プリンタとFAX」 - 「プリンタのインストール」をクリックしてください。
- Windows Server 2003をご利用の場合は、「スタート」 - 「プリンタとFAX」 - 「プリンタの追加」をクリックしてください。
- Windows Vistaをご利用の場合は、「スタート」(*1) - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタのインストール」をクリックしてください。 (*1):画面左下の Windows ロゴを示します。
- Windows Server 2008ご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタの追加」で「管理者として実行」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」を選択してください。
- Windows 7/Server 2008 R2ご利用の場合は、「スタート」(*2) - 「デバイスとプリンター」 - 「プリンターの追加」をクリックしてください。 (*2):画面左下の Windows ロゴを示します。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



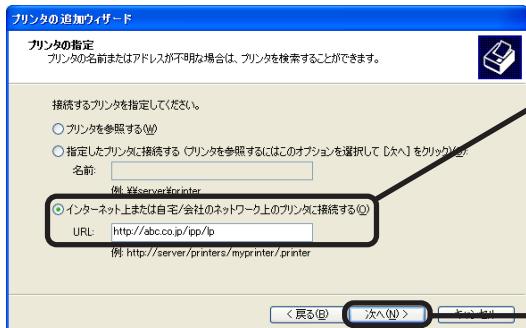
「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択してください。

次へ をクリックしてください。



- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します」を選択し、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択してください。

3. 本製品のアドレスを入力します。



「インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを指定してください。

次へ をクリックしてください。



例) URLが「abc.co.jp」の場合、

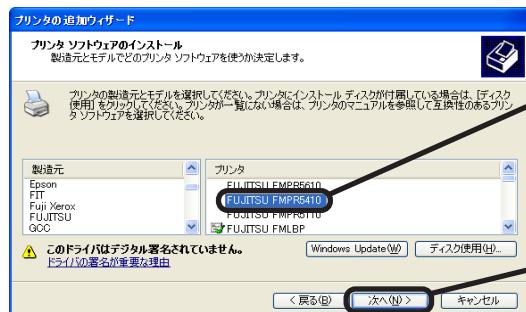
http://abc.co.jp/ipp/lp または **http://abc.co.jp/ipp**

例) IPアドレスが「192.168.20.185」の場合、

http://192.168.20.185/ipp/lp または **http://192.168.20.185/ipp**

- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「共有プリンタを名前で選択する」を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを指定してください。

4. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

OK をクリックしてください。

5. 通常使うプリンタとするか選択します。

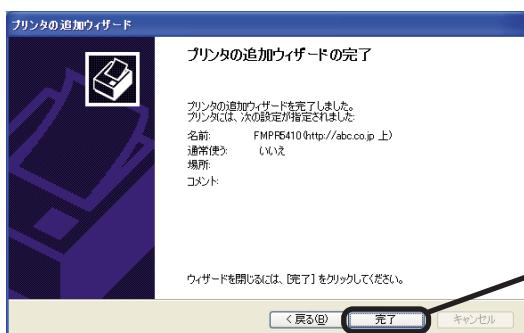


通常使うプリンタとするか選択してください。

次へ

をクリックしてください。

6. 設定完了です。



完了 をクリックしてください。



注意

- Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 /Windows Server 2008 R2 では、Adminmanager のプリントサーバの設定および、Web ブラウザによる設定の SNMP の設定の中の SysName に設定されたものが表示されます。SysName が設定されていない場合は、「unknown」と表示されます。
- Windows Vista/Server 2008 での設定完了画面については、「3-25(11.)」を参照してください。
- Windows 7/Server 2008 R2 では、プリンター名が表示された画面が表示されますので「次へ」をクリックすると設定完了画面になります。
設定完了画面については、「3-25(11.)」を参照してください。



7. プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。



注意

印刷ポートに OS 標準の IPP ポートを使用した場合、正しく印刷されない場合があります。この場合には専用ポート(PR-PortManager)を使用してください。

第4章 Windows Vista/7/Server 2008 /2008 R2のIPv6環境で使用する

本章では、Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2 の IPv6 環境で本製品を接続して、TCP/IP で印刷を行う方法について説明します。

あらかじめ、本誌の第3章を参照して IPv4 の設定をする必要があります。

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2のIPv6環境から TCP/IPで印刷する

本製品を TCP/IP プロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



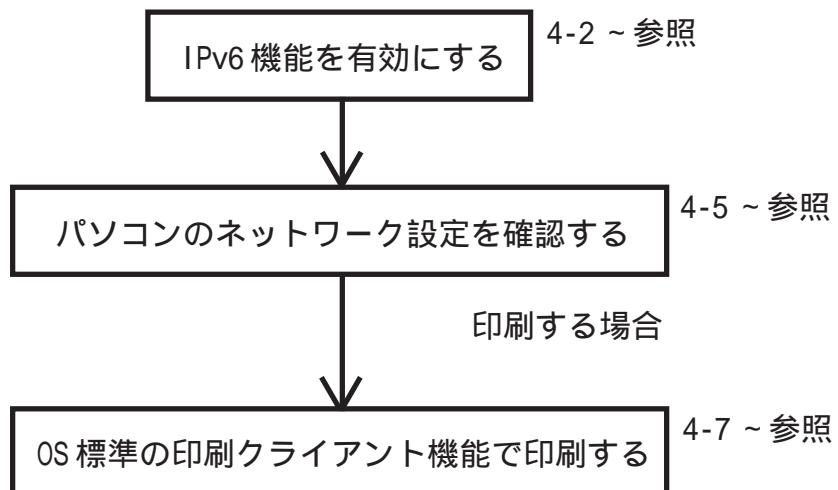
- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・設定を行うには、Administrator 権限が必要です。
- ・Windows 7/Windows Server 2008 R2 をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。
- ・PR-PortManager は、IPv6 環境対応しておりません。
- ・Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008/2008 R2 の標準の印刷クライアントで印刷を行う場合は、本章中の「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」をご参照ください。
- ・本製品の IPv6 アドレス(リンクローカルアドレス)は以下のとおりです。



リンクローカルアドレス : fe80::280:92ff:fexx:yyzz

(xxyyzz は本製品の Ethernet アドレスの下 6 衔です。)

設定および動作の流れ



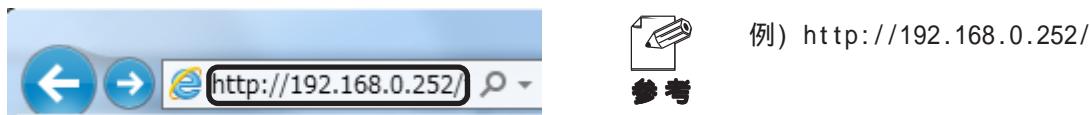
IPv6機能を有効にする

IPv6 機能は工場出荷設定にて機能しないように設定されています。
IPv6 機能を有効にするには以下の操作を行います。

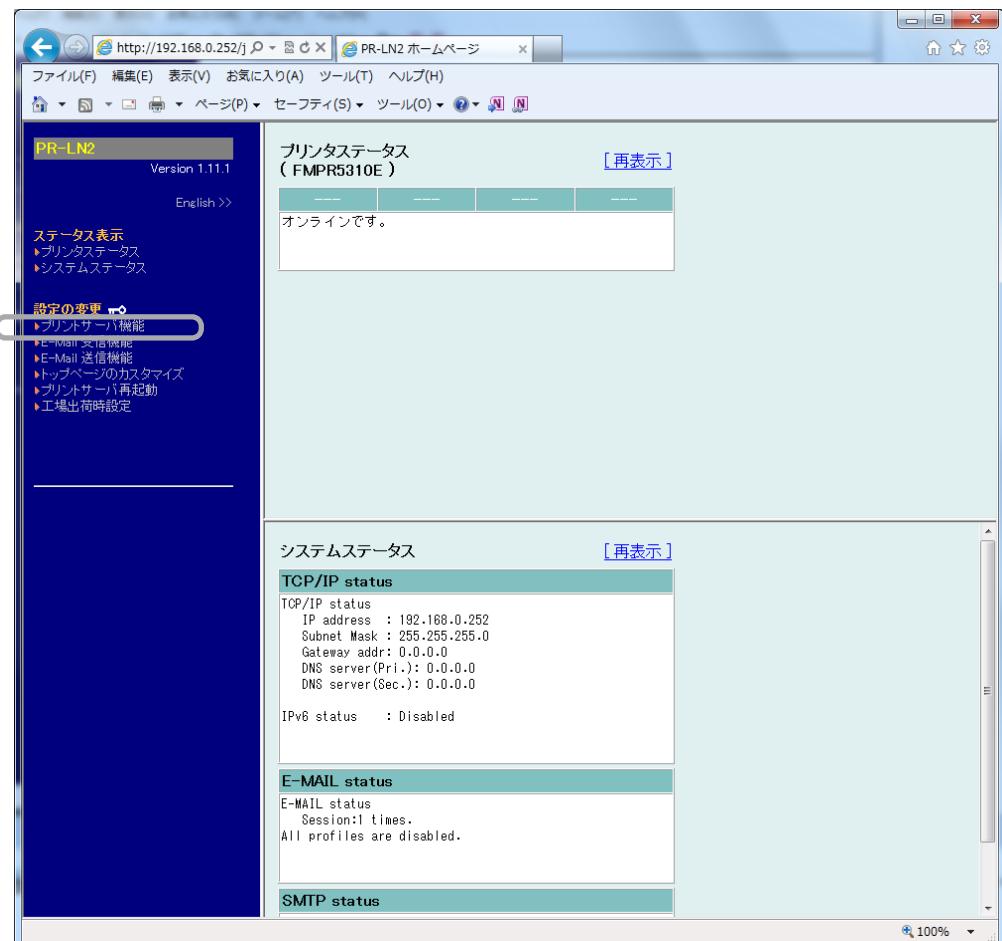
1. 通常 TCP/IP 設定により IPv4 アドレスを割り当てます。

(Quick Setup 等によく IPv4 アドレスを割り当てます。)

2. Web ブラウザを用いて割り当てた IPv4 アドレスで本製品にアクセスします。



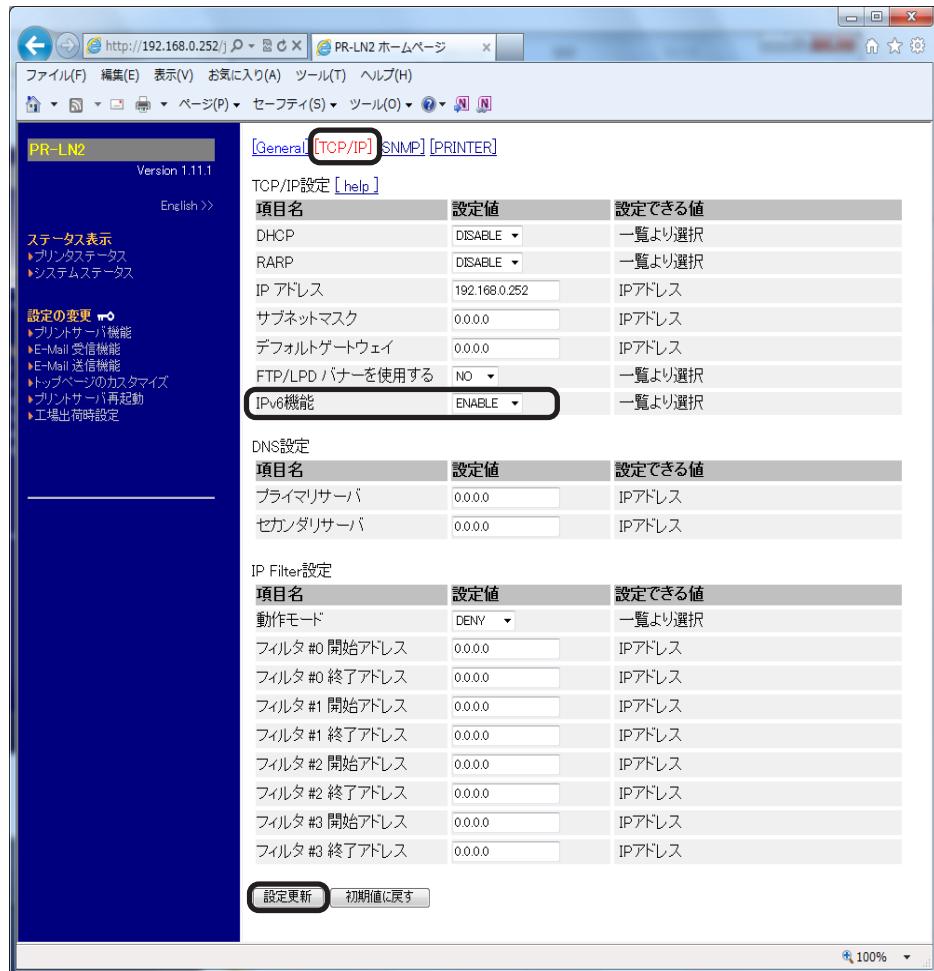
3. 設定の変更の「プリントサーバ機能」を選択します。



注意

- ・「Japanese」をクリックして日本語表示にしてください。
- ・ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力してください。

4. [TCP/IP]の項目を選択し「IPv6機能」項目を"ENABLE"に設定します。
設定後、「設定更新」をクリックします。



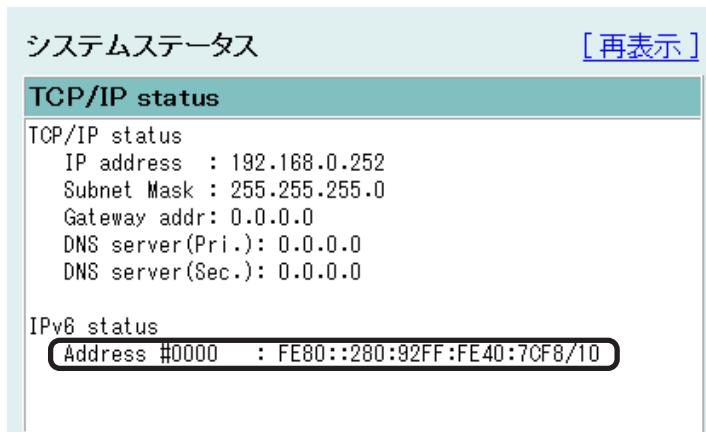
5. 設定更新を実施後、「設定変更後は、プリントサーバを再起動してください」が表示されましたら本製品を再起動します。



設定の変更の「プリントサーバ再起動」を実施してください。

6. IPv6 アドレスを確認します。

IPv6 アドレスは、Web ブラウザのシステムステータスの「IPv6 status」に表示されます。



パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2の場合

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2に[インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)]が追加されていることを確認します。

1.「スタート」^{(*)1}-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」-「ネットワーク接続の管理」^{(*)2}-「ローカルエリア接続」を選択します。

(^{(*)1}):画面左下のWindowsロゴを示します。

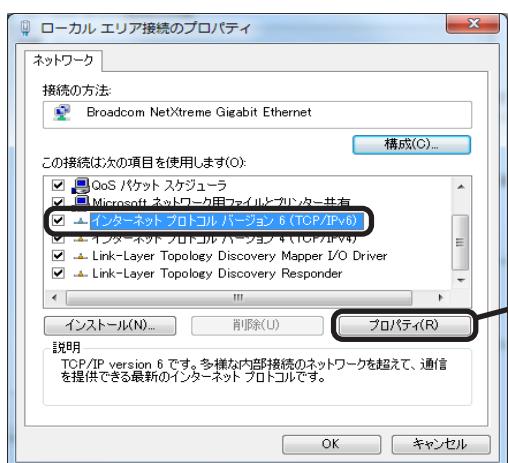
(^{(*)2}):Windows 7/2008 R2の場合、「アダプターの設定の変更」になります。

2.「ローカルエリア接続の状態」のプロパティを開きます。



・「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「続行」を選択してください。

3.[インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)]が追加されていることを確認してください。

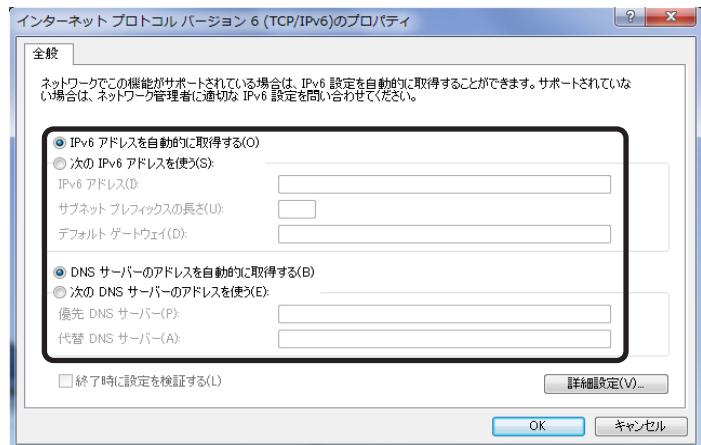


「プロパティ」をクリックしてください。



・[インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)]が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」-「プロトコル」-[インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)]を選択し、追加してください。

4.「全般」で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



OS標準の印刷クライアント機能で印刷する

IPv6 環境で、OS 標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2のStandard TCP/IPポートで印刷する



- 注意**
- 以下の説明は、Windows 7 の画面で行っていますので、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2をご利用の場合、画面が異なります。
 - ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
 - OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。
 - プリンタ本体に添付されている FMPR ユーティリティ (FMPR5110 リモートパネル、FMPR5110/5010 リモートパネル、FMPR5610/5410 リモートパネル、FMPR3000 リモートパネル) は OS 標準ポートおよび IPv6 環境には対応していません。

1.「スタート」(画面左下の Windows ロゴ) - 「デバイスとプリンター」を開き、「プリンターの追加」をクリックしてください。



- 参考**
- Windows Vistaをご利用の場合は、「スタート」(*1) - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタのインストール」をクリックしてください。 (*1):画面左下の Windows ロゴを示します。
 - Windows Server 2008をご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタの追加」で「管理者として実行」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」を選択してください。
 - Windows 7/Server 2008 R2をご利用の場合は、「スタート」(*2) - 「デバイスとプリンター」 - 「プリンターの追加」をクリックしてください。 (*2):画面左下の Windows ロゴを示します。

2.設定するプリンタの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。



- 参考**
- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

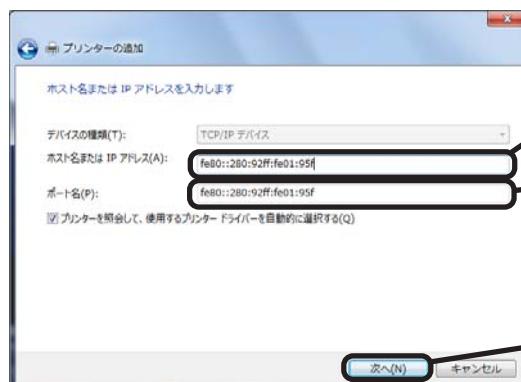
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

4. プリンタポートを追加します。



本製品に設定したIPv6環境のIPアドレスを入力してください。

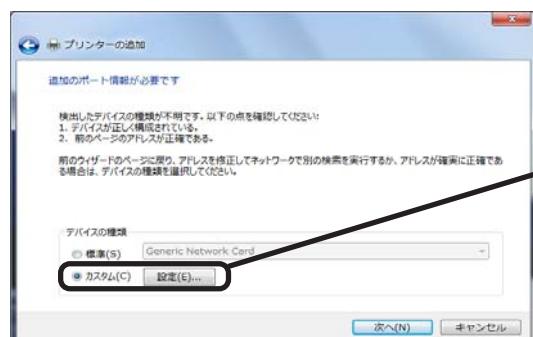
名前を付けない場合は、既定値をご使用ください。

次へ をクリックしてください。



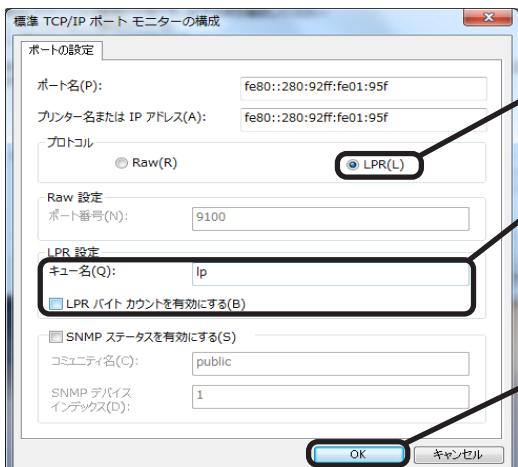
- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ホスト名またはIPアドレス」に本製品に設定したIPv6環境のIPアドレスを入力してください。「プリンタを照会して、使用するプリンタドライバを自動的に選択する」はチェック状態としてください。

5. デバイスの種類を決定します。



「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックしてください。

6. ポート情報を入力します。



「LPR」にチェックを入れてください。

キューネ名は「lp」を入力し、「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れてください。

OK をクリックしてください。



・「OK」をクリックすると「6.」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

参考

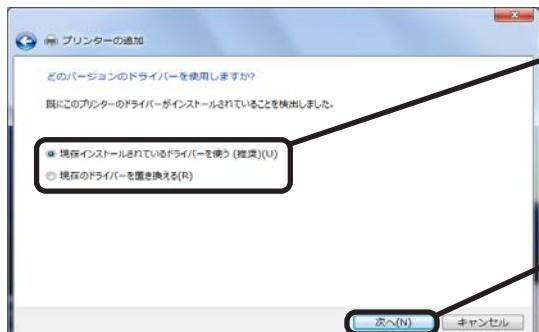
7. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ をクリックしてください。

8. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



・最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

9. プリンタ名を登録します。



プリンタ名の登録を行います。

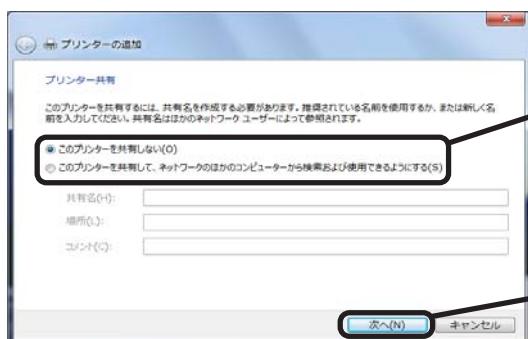
次へ

をクリックしてください。



- Windows Vista/Server 2008ご利用の場合は、「通常使うプリンタに設定する」の設定がありますので選択してください。

10. プリンタを共有するかを選択します。



プリンタを「共有する」か「共有しない」かを選択してください。

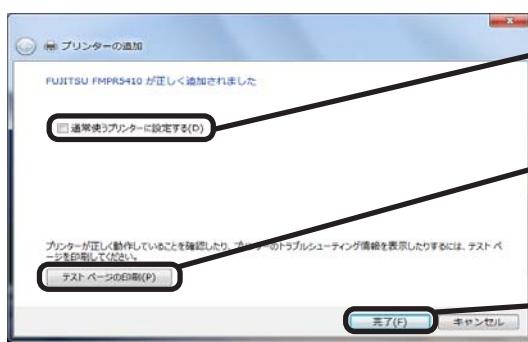
次へ

をクリックしてください。



- 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。
- Windows Vistaご利用の場合は、本画面はありません。

11. テストページを印刷するか通常使うプリンターに設定するかを選択します。



このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

テストページを印刷する場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。

完了

をクリックしてください。
設定完了です。

- 12.** 「11.」で「テストページの印刷」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に
出力されれば、設定完了です。
「11.」の「完了」をクリックしてください。
- 13.** プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを
はずしてください。

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2のLPRポートで印刷する



注意

- LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は LPR Port を追加する必要があります。
Windows Vista の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示されます。「続行」を選択してください。Windows の機能画面で、「印刷サービス」 - 「LPR ポート印刷」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。
Windows 7 の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。Windows の機能画面で、「印刷とドキュメントサービス」 - 「LPR ポートモニター」を選択して、「OK」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。
Windows Server 2008/2008 R2 の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示されます。「続行」を選択してください。Windows Server 2008 R2 の場合は、「はい」を選択してください。サーバーマネージャの「機能の概要」 - 「機能の追加」 - 「LPR ポートモニタ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。インストールオプションの確認で「インストール」をクリックしてください。「インストールが正常に完了しました」が表示されたら「閉じる」をクリックしてください。これで LPR ポートモニタの追加は完了です。
- 以下の説明は、Windows 7 の画面で行っておりますので、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 をご利用の場合、画面が異なります。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「Popup Status Monitor」をご利用することはできません。

1. 「スタート」(画面左下のWindowsロゴ) - 「デバイスとプリンター」を開き、「プリンターの追加」をクリックしてください。



- ・Windows Vistaをご利用の場合は、「スタート」(*1) - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタのインストール」をクリックしてください。 (*1):画面左下のWindowsロゴを示します。
- ・Windows Server 2008ご利用の場合は、「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」 - 「プリンタの追加」で「管理者として実行」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」を選択してください。
- ・Windows 7/Server 2008 R2ご利用の場合は、「スタート」(*2) - 「デバイスとプリンター」 - 「プリンターの追加」をクリックしてください。 (*2):画面左下のWindowsロゴを示します。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。



- ・Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

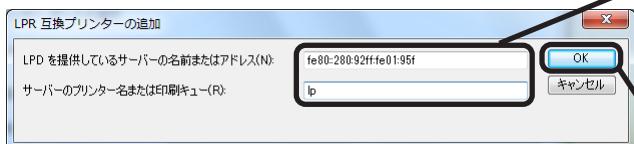
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「LPR Port」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

3. LPR 互換プリンタを追加します。



本製品に設定したIPv6環境のIPアドレスと「lp」を入力してください。

OK をクリックしてください。

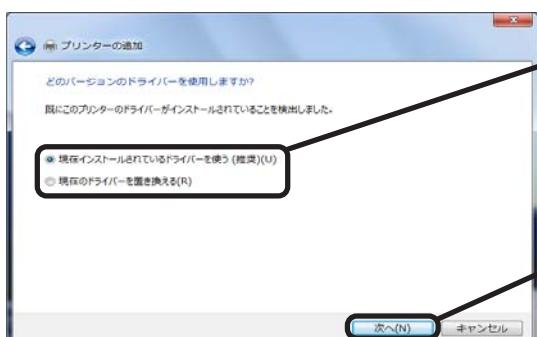
4. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ をクリックしてください。

5. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



・最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

6. プリンタ名を登録します。



プリンタ名の登録を行います。

次へ

をクリックしてください。



- Windows Vista/Server 2008ご利用の場合は、「通常使うプリンタに設定する」の設定がありますので選択してください。

7. プリンタを共有するかを選択します。



プリンタを「共有する」か「共有しない」かを選択してください。

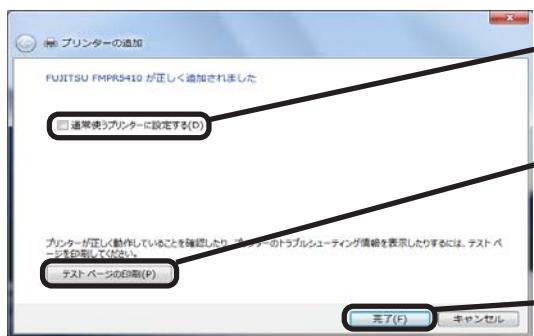
次へ

をクリックしてください。



- 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。
- Windows Vistaご利用の場合は、本画面はありません。

8. テストページを印刷するか通常使うプリンターに設定するかを選択します。



このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

テストページを印刷する場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。

完了

をクリックしてください。
設定完了です。

- 9.** 「8.」で「テストページの印刷」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。
「8.」の「完了」をクリックしてください。
- 10.** プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。
- 11.** プリンタドライバの詳細設定で「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択してください。

Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2のIPPポートで 印刷する



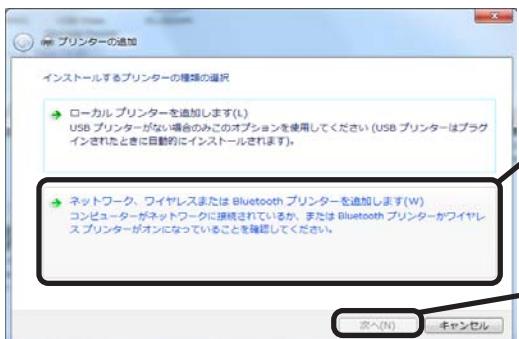
- Windows Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「インターネット印刷クライアント」機能がインストールされている必要があります。あらかじめインストールしてください。
- 以下の説明は、Windows 7の画面で行っておりますので、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2をご利用の場合、画面が異なります。
- ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- OS標準の印刷クライアント機能およびIPv6環境では、「Popup Status Monitor」をご利用することができます。
- プリンタ本体に添付されているFMPRユーティリティ(FMPR5110リモートパネル、FMPR5110/5010リモートパネル、FMPR5610/5410リモートパネル、FMPR3000リモートパネル)はIPPポートおよびIPv6環境には対応しておりません。

1.「スタート」(画面左下のWindowsロゴ)-「デバイスとプリンター」を開き、「プリンターの追加」をクリックしてください。



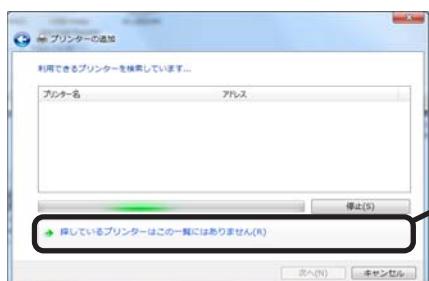
- Windows Vistaをご利用の場合は、「スタート」(*1)-「コントロールパネル」-「プリンタ」-「プリンタのインストール」をクリックしてください。 (*1):画面左下のWindowsロゴを示します。
- Windows Server 2008をご利用の場合は、「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタ」-「プリンタの追加」で「管理者として実行」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」を選択してください。
- Windows 7/Server 2008 R2をご利用の場合は、「スタート」(*2)-「デバイスとプリンター」-「プリンタの追加」をクリックしてください。 (*2):画面左下のWindowsロゴを示します。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



「ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

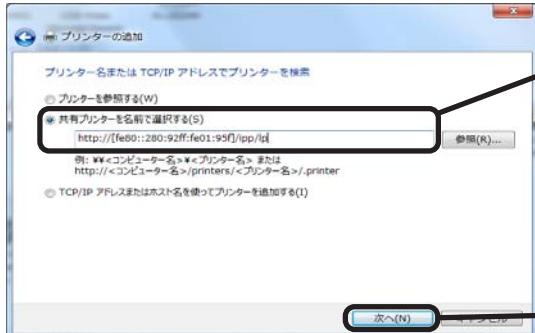


「探しているプリンターはこの一覧にはありません」を選択してください。



- Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します」を選択し、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択してください。

3. 本製品のアドレスを入力します。



「共有プリンターを名前で選択する」を選択し、本製品のIPv6環境のIPアドレスを指定してください。

次へ をクリックしてください。



例) IPアドレスの場合、

`http://[IPv6環境IPアドレス]/ipp/Ip` または `http://[IPv6環境IPアドレス]/ipp`

- ・IPアドレスを[](括弧)で囲んでください。
- ・Windows Vista/7/Server 2008/2008 R2をご利用の場合は、「共有プリンタを名前で選択する」を選択し、本製品のIPv6環境のIPアドレスを指定してください。

4. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

OK をクリックしてください。

5. 内容を確認します。

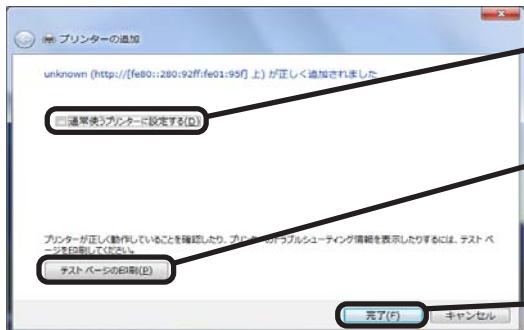


次へ をクリックしてください。



- ・Windows Vista/Server 2008をご利用の場合は、「通常使うプリンタに設定する」の設定がありますので選択してください。

6. テストページを印刷するか通常使うプリンターに設定するかを選択します。



このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

テストページを印刷する場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。

完了 をクリックしてください。
設定完了です。



Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7/Windows Server 2008 R2では、Adminmanagerのプリントサーバの設定および、Web ブラウザによる設定のSNMP の設定の中の SysName に設定されたものが表示されます。SysName が設定されていない場合は、「unknown」と表示されます。

7. 「6.」で「テストページの印刷」を選択した場合、プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。 「6.」の「完了」をクリックしてください。

8. プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

第5章 設定に関する機能

本章ではAdminManager、Webブラウザを利用して、詳細な設定を行う方法について説明します。

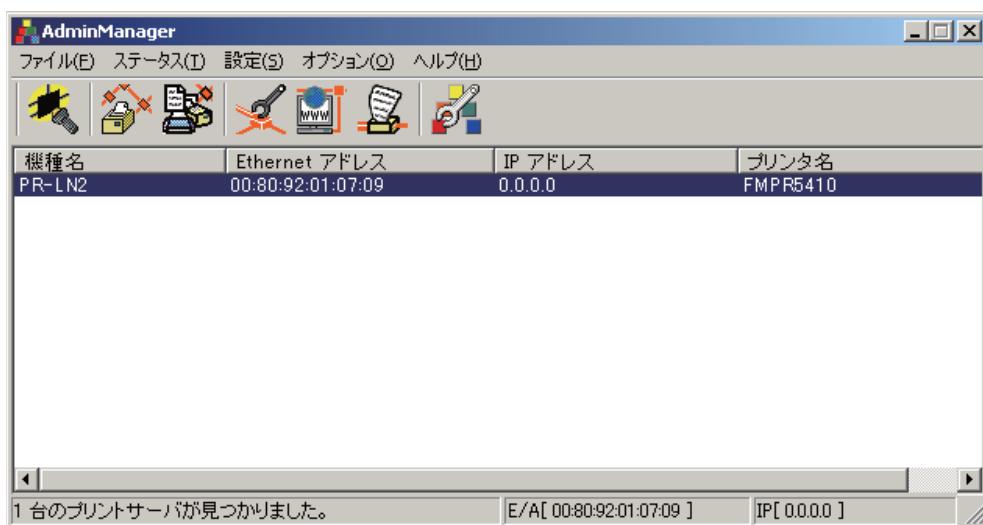
AdminManagerで設定する

総合ユーティリティ「AdminManager」は、本製品の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やメールの設定、プリントステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



注意

- ・ AdminManagerをご利用になる場合、ご使用のパソコンにTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。
- ・ ご利用の環境および、ご使用の機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。
- ・ Windows XP、Windows Server 2003 環境でTCP/IPプロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」 - 「詳細設定」 - 「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制御したり...」のチェックを外してください。
- ・ Windows 7/Windows Server 2008 R2をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。



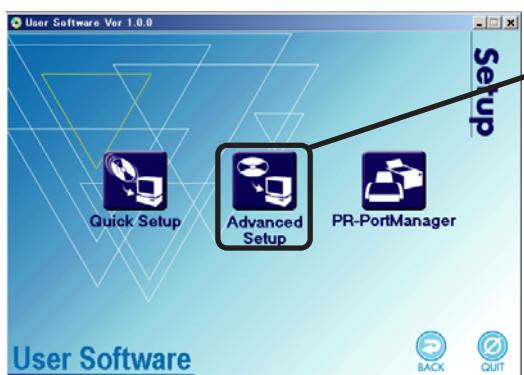
AdminManagerを起動する(インストールせずに直接CD-ROMから起動する場合)

1. 本製品に付属している CD-ROM から User Software を起動してください。



「セットアップ」をクリックしてください。

2. 「セットアップ」をクリックすると下記の選択画面が表示されます。

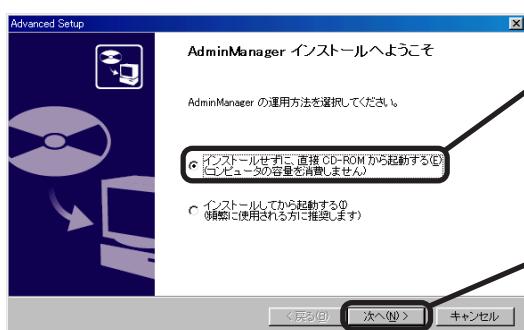


「Advanced Setup」をクリックしてください。



- Windows Vista/Windows Server 2008をご利用の場合は、「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「許可」を選択してください。

3. インストール確認画面が表示されます。



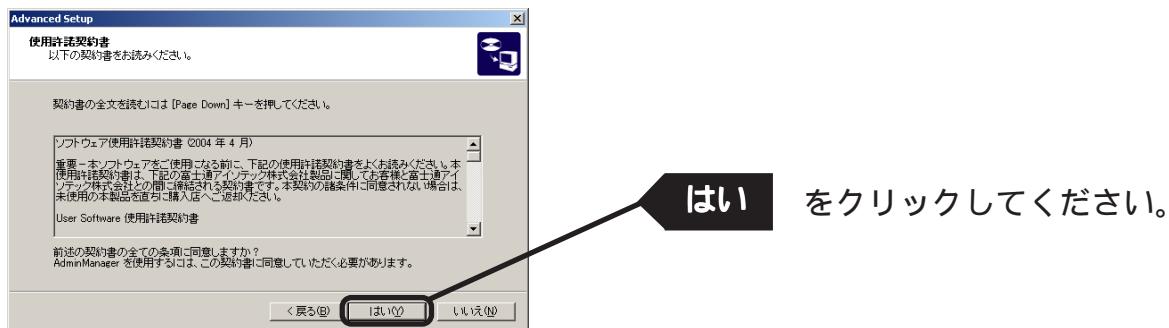
「インストールせずに、直接CD-ROMから起動する」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。



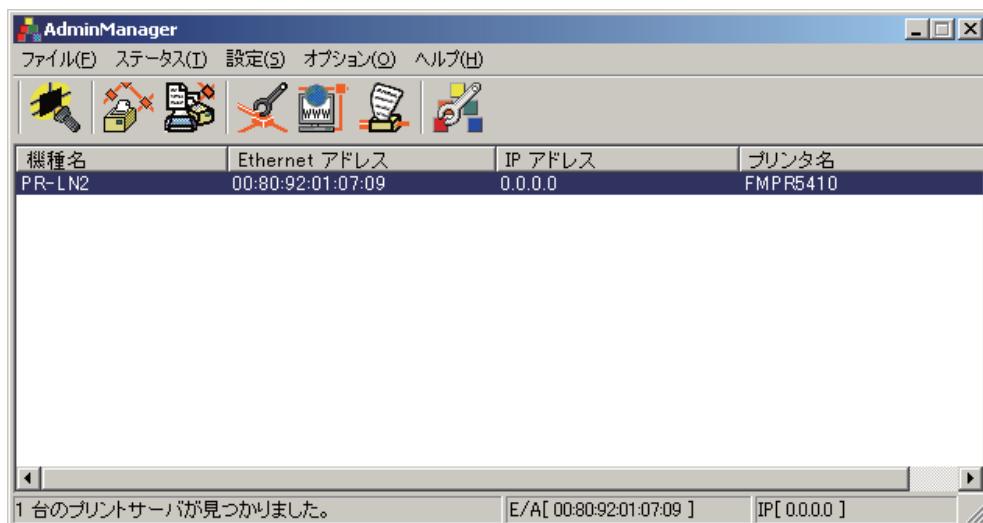
- AdminManager を頻繁に使用される方は、「インストールしてから起動する」を選択して、ご利用のパソコンにインストールすることをお奨めします。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



- Windows XP(SP2 以降)/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 の環境では下記のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。
「このアプリケーションを使用するには、Windows ファイアウォールの例外リストに登録する必要があります。 アプリケーションを例外リストに登録しますか?」

5. AdminManager が起動します。



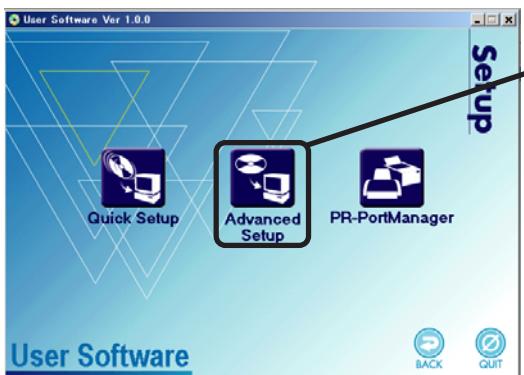
AdminManagerをインストールする（インストールしてから使用する場合）

1. 本製品に付属しているCD-ROMからUser Softwareを起動してください。



「セットアップ」をクリックしてください。

2. 「セットアップ」をクリックすると下記の選択画面が表示されます。

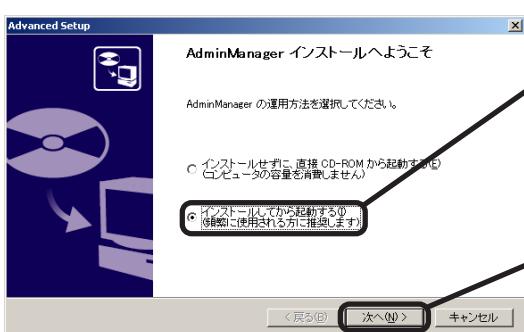


「Advanced Setup」をクリックしてください。



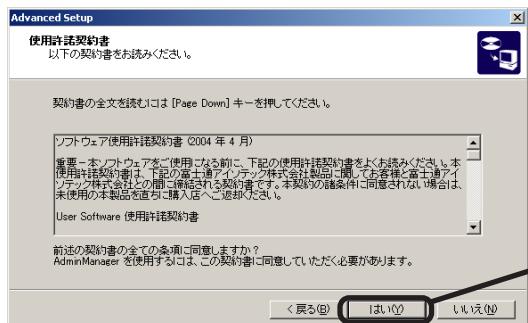
・Windows Vista/Windows Server 2008をご利用の場合は、「ユーザーアカウント制御」が有効の場合は、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので「許可」を選択してください。

3. インストール確認画面が表示されます。



次へ をクリックしてください。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

5. インストール先のフォルダを指定します。

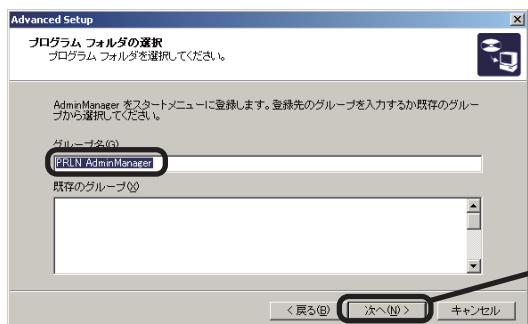


次へ をクリックしてください。



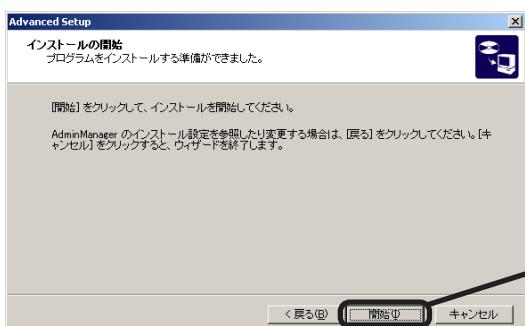
・[参照]をクリックするとインストール先フォルダを選択できます。

6. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



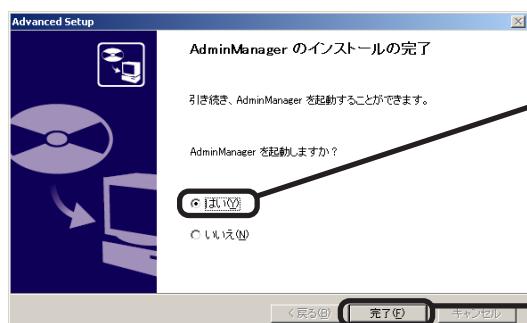
次へ をクリックしてください。

7. インストールを開始します。



開始 をクリックしてください。

8. インストール完了です。



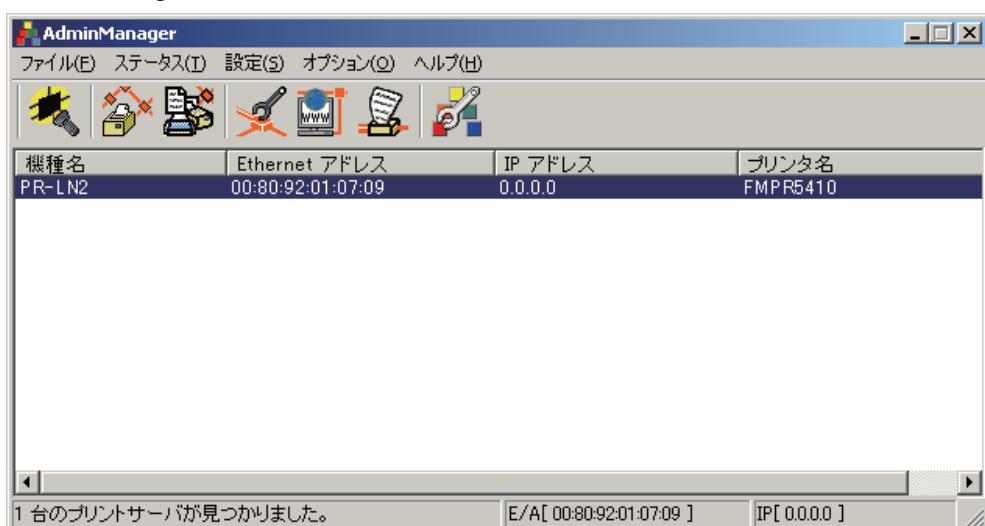
「はい」を選択してください。
AdminManagerを起動しない場合は、
「いいえ」を選択してください。

完了 をクリックしてください。



- Windows XP(SP2以降)/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2の環境では下記のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。
「このプリケーションを使用するには、Windows ファイアウォールの例外リストに登録する必要があります。 アプリケーションを例外リストに登録しますか?」

9. AdminManager が起動します。



AdminManagerで本製品を検索する

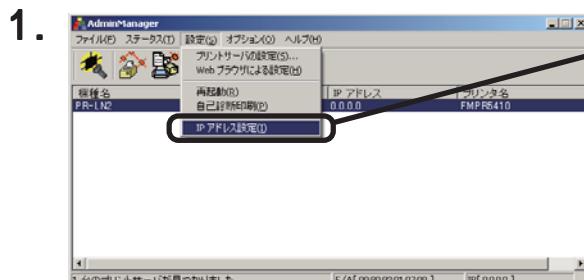
本製品の設定を行う前に、AdminManager で本製品が検索されることをご確認ください。

IP アドレス設定

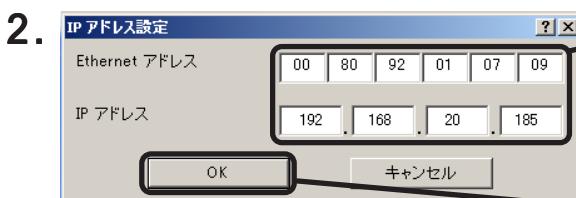
IP アドレスの設定を手動で行います。



- ・本設定を行う前に、本製品の Ethernet アドレスをご確認ください。
Ethernet アドレスは本製品のシール表示を確認してください。
- ・初期導入または他機種のプリンタで使用されていた本製品を流用してお使いになる場合、検索で表示される本製品のプリンタ名が実際と異なるプリンタ名で検出されることがあります。その場合は、設定を行う前に本製品を初期化してください。（本製品の初期化に関しては、本章の「プリントサーバの設定」を参照してください）

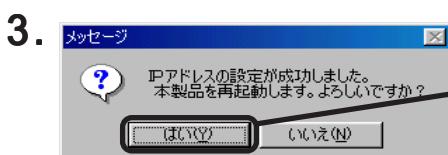


AdminManager のメニューバーから「設定」 - 「IP アドレス設定」を選択して IP アドレス設定ツールを起動してください。



設定する製品の Ethernet アドレスと IP アドレスを入力してください。

OK をクリックしてください。



設定した IP アドレスを有効にするために本製品をリセットします。
「はい」をクリックしてください。



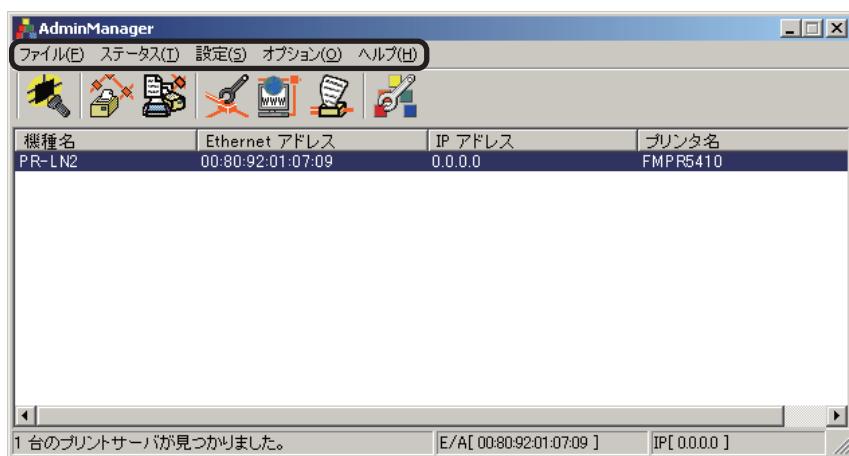
- ・AdminManager の「再起動」処理はプリンタの機種によっては動作しないことがあります。
この場合、プリンタの電源を再投入してください。

AdminManagerの機能

AdminManager メニュー構成



- ご利用の環境および、本製品の機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。



メニュー	項目	説明
ファイル	検索	ネットワーク上の本製品を検索
	終了	AdminManagerを終了
ステータス	プリンタステータス	プリンタステータスマニタを表示
	システムステータス	システムステータスマニタを表示
	設定項目一覧表示	本製品の内部設定情報を表示
設定	プリントサーバの設定	本製品の各種設定
	Webブラウザによる設定	本製品のホームページを起動
	再起動	本製品の再起動
	自己診断印刷	本製品の自己診断印刷を実行
	IPアドレス設定	IPアドレスの手動設定
オプション	環境設定	AdminManagerの環境設定
ヘルプ	バージョン表示	AdminManagerのバージョンを表示

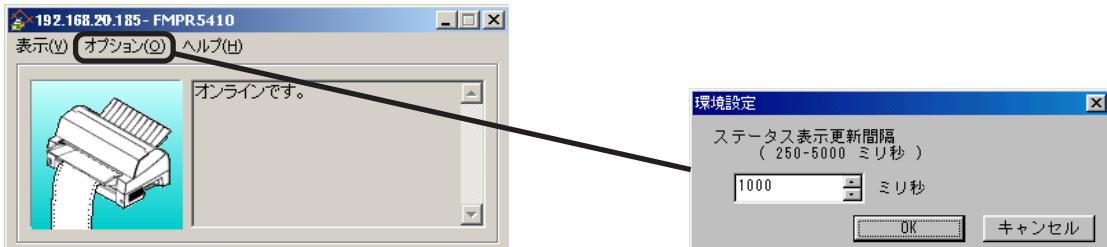


- 自己診断印刷機能は使用しないでください。

注意

プリンタステータス

AdminManager 画面にて選択した本製品が接続しているプリンタの状態が、リアルタイムに表示されます。また、環境設定画面にて、プリンタステータスの更新時間を指定することができます。



プリンタステータス環境設定

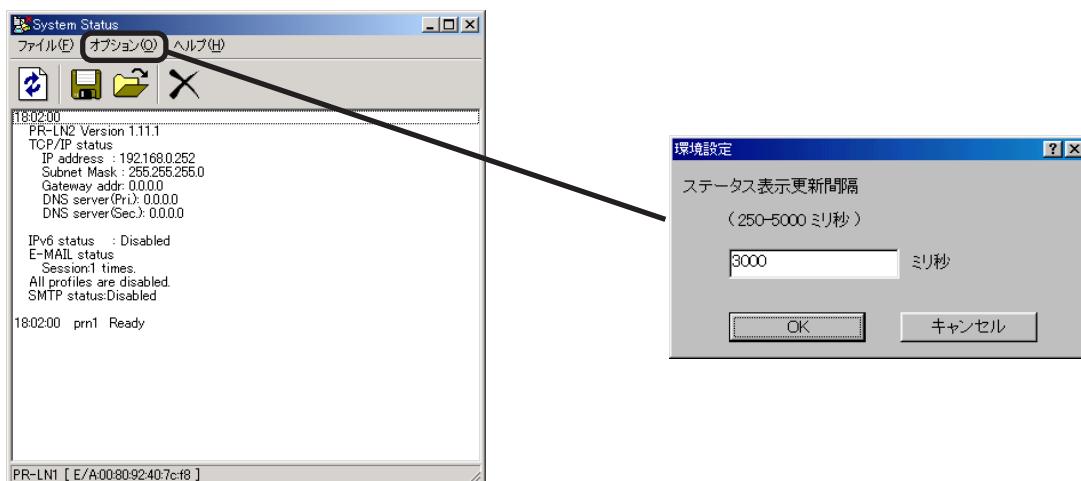


- ・プリンタの機種によっては、プリンタの状態を正常に取得できない場合があります。

注意

システムステータス

AdminManager 画面にて選択した本製品の動作状態がリアルタイムに表示されます。本製品の動作状態をファイルに保存(ログの登録)し、参照することができます。また、環境設定画面にて、システムステータスの更新時間を指定することができます。

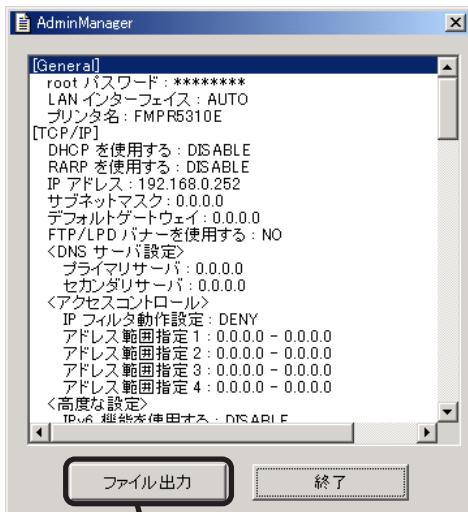


- ・ご利用の本製品の機種によっては表示される項目が異なります。

注意

設定項目一覧表示

本製品に設定した各項目の設定値が一覧で表示されます。設定内容をファイル出力し、管理することができます。

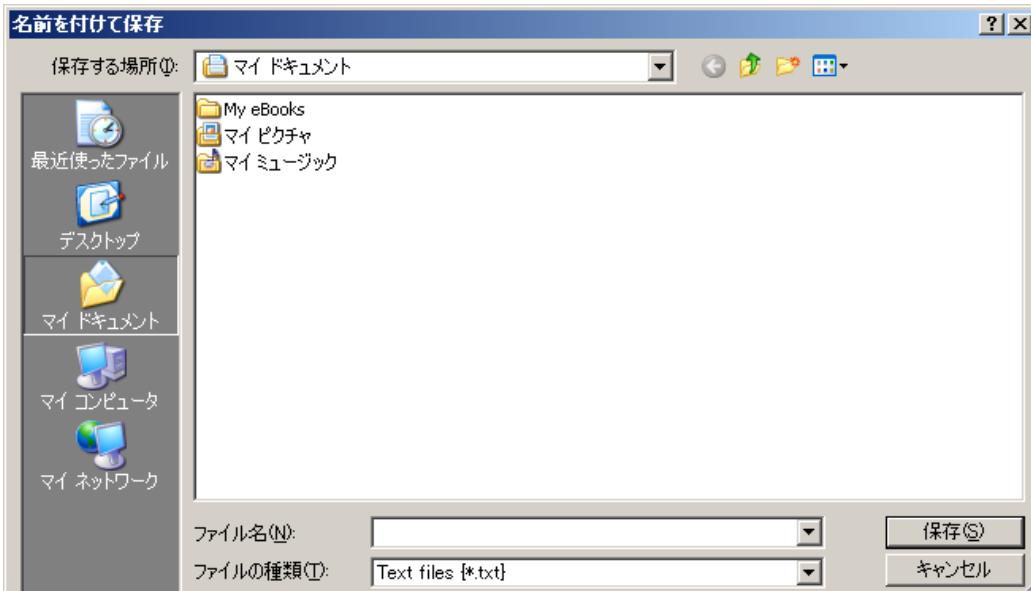


クリックすると出力するファイルを保存する画面に移ります。



- ご利用の本製品の機種によっては表示される項目が異なります。

注意

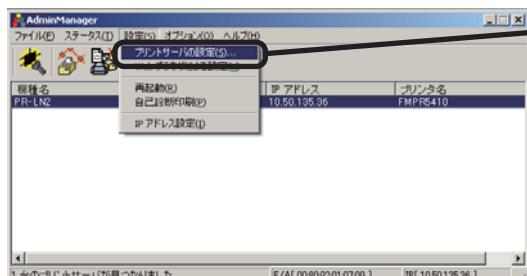


AdminManagerで本製品の設定を行う

プリントサーバの設定

AdminManager の「設定」 - 「プリントサーバの設定」で本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。

1.



設定を行う本製品を指定し、AdminManager のメニューバーから「設定」 - 「プリントサーバの設定」を選択してください。



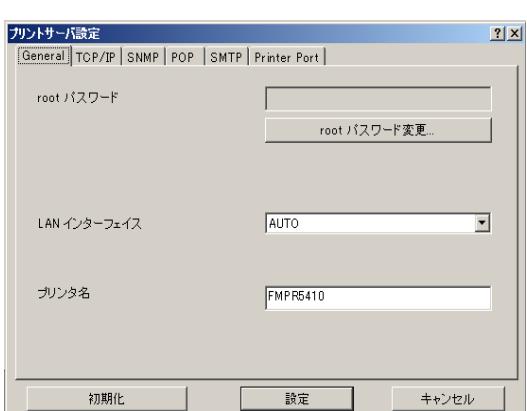
- ・本製品にパスワードが設定されている場合、「パスワード入力」画面が表示されます。
- ・「Guestユーザ」チェックボックスをチェックした場合は設定情報を確認することはできますが、設定内容の変更は行えません。



パスワードの初期値は空白で結構です。

パスワード入力画面

2.



左の画面が表示されます。設定を行いたいタブを選択し、設定を行ってください。



・初期化について

「初期化」をクリックすると、本製品を工場出荷設定に戻します。

パスワードが未設定の場合でも、パスワード入力画面が表示されますが、ブランクのままとしてください。

他のネットワークに移設した場合は、移設前の環境に接続し、本設定を行ってください。

移設前の環境に戻れない場合は、7章最後(7-11)にある「DIP SW 操作による初期化」を行ってください。

General の設定

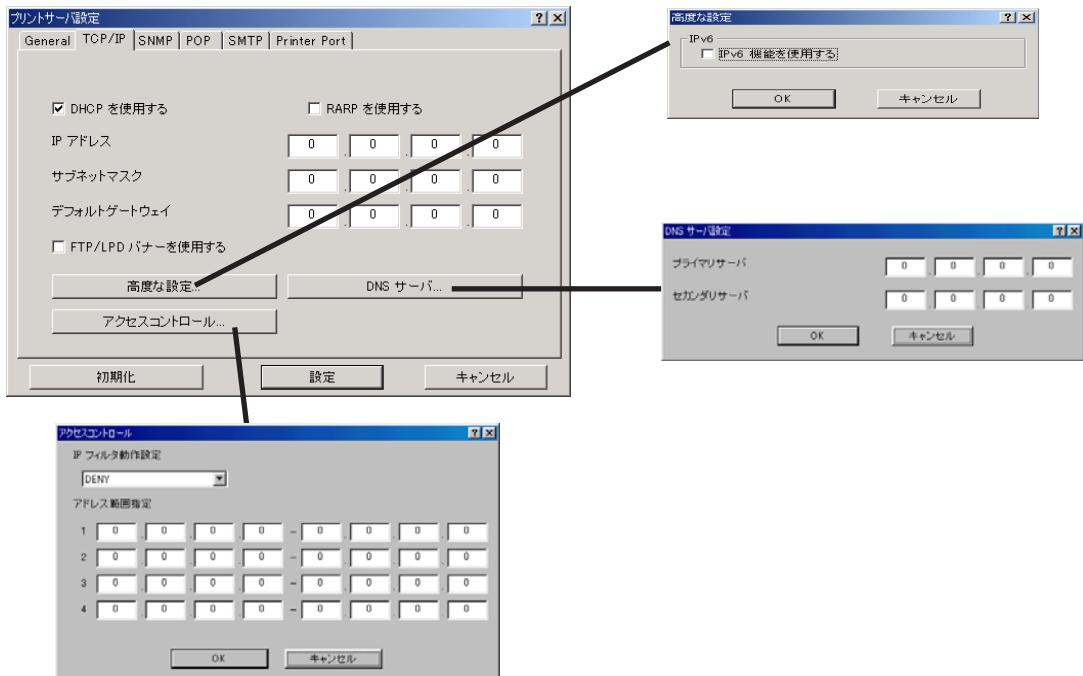
ネットワークの一般的な設定を行います。



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
General	root パスワード	本製品の管理パスワードをASCII文字列（7文字以内）で設定します。このパスワードはAdminManager、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
	root パスワード変更	パスワードの変更を行います。	-
	LAN インターフェース	物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
	プリンタ名	プリンタ名を設定します。（半角最大31文字、全角最大15文字）	なし

TCP/IP の設定

IP アドレス等、TCP/IP プロトコルを使用するための設定、およびセキュリティ機能を強化するために、IP アドレスによるアクセスコントロールに関する設定を行います。



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
TCP/IP	DHCP を使用する	DHCP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。	ENABLE
	RARP を使用する	本製品では、RARP は未サポートです。本設定は変更しないでください。	DISABLE
	IP アドレス	本製品の IP アドレスを 10 進数 「xxx. xxx. xxx. xxx」 の形式で設定します。	0.0.0.0
	サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを 10 進数 「xxx. xxx. xxx. xxx」 の形式で設定します。「0.0.0.0」 は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを 10 進数 「xxx. xxx. xxx. xxx」 の形式で設定します。「0.0.0.0」 は無効になります。	0.0.0.0
	FTP/LPD バナーを使用する	FTP または LPD 印刷時にバナーページの印刷を行う (ENABLE) か、行わない (DISABLE) かを設定します。	DISABLE
	DNS サーバ	DNS サーバ (プライマリ) のアドレスを設定します。 POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数 「xxx. xxx. xxx. xxx」 の形式で設定します。	0.0.0.0
	セカンダリサーバ	DNS サーバ (セカンダリ) のアドレスを設定します。 POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数 「xxx. xxx. xxx. xxx」 の形式で設定します。	0.0.0.0

タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
TCP/IP	IP フィルタ動作設定	IP フィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があり、「allow」にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受けとります。「deny」にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
	アドレス範囲指定	IP フィルタの範囲を設定します。フィルタしたい IP アドレスの範囲は 4 組まで設定できます。	0.0.0.0
	IPv6 機能を使用する	IPv6 機能の動作を禁止 (DISABLE) / 許可 (ENABLE) します。	DISABLE



DHCP プロトコルで使用する場合は、「RARP を使用する」設定を無効にしてください。

参考

SNMP の設定

ネットワーク経由で管理を行なうための設定を行います。



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
SNMP MIB-II 設定項目	認証コミュニティ名	SNMP の認証コミュニティ名を 設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。(半角で最大15文字)	public
	Trapコミュニティ	SNMP のトラップコミュニティを 設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。(半角で最大15文字)	public
	Trap通知先アドレス	SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
	SysContact	SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大255文字、全角で最大127文字)	なし
	SysName	SysName を設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。(半角で最大255文字、全角で最大127文字)	なし
	SysLocation	SysLocation を 設定します。通常は本製品のある場所を設定します。(半角で最大255文字、全角で最大127文字)	なし
	Enable Authen Trap	Enable AuthenTrapの有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。この設定を有効(ENABLE)にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMP トラップが「Trap通知先アドレス」で設定した IP アドレスに向けて発信されます。	DISABLE

- ・本製品では以下のトラップをサポートしています。

coldStart (電源投入時、発行するトラップ)

authenticationFailure (認証エラー時、発行するトラップ)

enterpriseSpecific (プリンタエラー時、発行するトラップ)

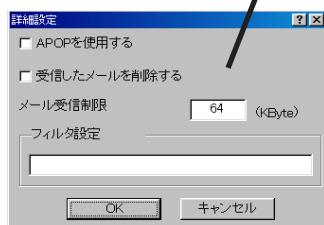
- ・本製品から発行されたトラップをSNMPマネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ(管理グループ)に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMPマネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。
 - ・セキュリティ対策のため、初期値(public)を変更することをおすすめします。
 - ・情報の設定は、全角文字の入力も可能ですが、記号(株「」など)や半角カナには対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合があるので、半角英数字での入力をおすすめします。



注意

POP の設定

メールサーバにあるメールを受信するための設定を行います。



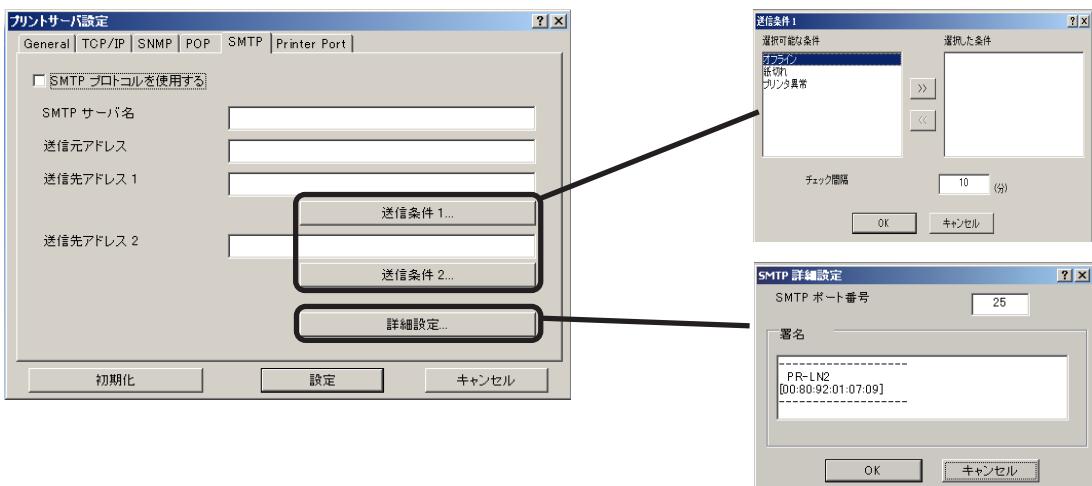
タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
POP	POPプロトコルを使用する	POPプロトコル（メール受信機能）の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。	DISABLE
	ユーザ設定	各ユーザのメール受信機能の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。	DISABLE
	POPサーバ名	メールサーバのホスト名（またはIPアドレス）を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。（半角で最大78文字）	なし
	POPユーザ名	メールアカウントのログイン名（ユーザ名）を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	POPパスワード	メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。（半角で最大31文字）	なし
	POPポート番号	POPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(110)で使用してください。	110
	APOPを使用する	サーバでAPOP使用の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。APOPを利用するには、メールサーバがAPOPに対応している必要があります。	DISABLE
	受信したメールを削除する	本製品が受信・印刷したメールをメールサーバ上から削除するかを有効(ENABLE)、無効(DISABLE)で設定します。添付ファイルのあるメールは、この設定を有効(ENABLE)に置いていてもメールは削除されません。	DISABLE
	メール受信制限	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを処理対象とします。	64
	フィルタ設定	特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル（空文字列）の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件()または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。（半角で最大80文字、全角で最大40文字）	なし
	着信チェック間隔(分)	メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。	15
	ローカルタイムゾーン	タイムゾーンを設定します。日本での使用は”+09:00”となります。	+9:00



メール受信機能を有効にした場合、受信したメールを印刷しますので用紙をセットしておくことをお奨めします。

SMTP の設定

プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態等を通知するための設定を行います。



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
SMTP	SMTPプロトコルを使用する	SMTPプロトコルの有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。無効(DISABLE)にするとE-Mail送信機能が停止します。	DISABLE
	SMTPサーバ名	SMTPサーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。(半角で最大78文字)	なし
	送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字)	なし
	送信先アドレス(1~2)	送信先のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字)	なし
	選択条件	オフライン 用紙切れ プリンタ異常	OFF OFF OFF
	1	チェック間隔	10
	2	SMTPポート番号	25
	詳細設定	署名 PR-LN2 [00:80:92:01:07:09] (製品名とEthernetアドレス下6桁)	----- PR-LN2 [00:80:92:XX:XX:XX]

メール形式例

```
[SYSTEM STATUS]
PR-LN2 Version 1.1.0
TCP/IP status
    IP Address : 192.168.1.230(DHCP)
    Subnet Mask : 255.255.255.0
    Gateway addr : 192.188.1.10
    DHCP Server : 192.168.1.1
    Lease time : 259200sec
        DNS server(Pri.) : 192.188.1.1
        DNS Server(Sec.) : 192.168.1.2
    E-MAIL status
        Session:1 times.
    POP3 USER1
        NAME :printia
        SEEVER :192.168.1.4:110(1st Session)
    MODE :UIDL
        STATUS :RETR 0 / DELETED 0 / FILTERED 0
        RESULT :Success
    POP3 USER2
        RESULT :Disabled
    POP3 USER3
        RESULT :Disabled
    POP3 USER4
        RESULT :Disabled
    SMTP status
TO-ADDR1
    E-MAIL Address:<xxxxx@fit.fujitsu.com>
    Last Session :Success
    Current status:Idle
    Try to send :3 times.
    Fail to sendr :0 times.
TO-ADDR2
    E-MAIL Address:<yyyyy@fit.fujitsu.com>
    Last Session :Nothing
    Current status:Waiting for Interval time.
    Try to send :0 times.
    Fail to sendr:0 times.

[PRINTER STATUS]
00:04:27 <00101111> Not Ready(Busy PaperEmpty Fault)and Printing
00:03:08 <00101110> Not Ready(Busy PaperEmpty Fault)
00:03:03 <00100110> Not Ready(Busy Fault)
00:01:58 <00100110> Not Ready(Busy Fault)
-----
PR-LN2
[00:80:92:01:23:45]
```

PrinterPort の設定

プリンタへ出力するための詳細設定を行います。



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
Printer Port	B0J 文字列	直接出力ポート（lpポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	E0J 文字列	直接出力ポート（lpポート）に出力した後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	B0J 文字列	漢字フィルタ経由出力ポート（sjis/eucポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	E0J 文字列	漢字フィルタ経由出力ポート（sjis/eucポート）に出力する後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	¥f
	プリンタエミュレーション	プリンタのエミュレーション（PDL）に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート（sjis/euc）に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。	ESC/P
	タブサイズ	漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード（0x09）を半角スペース（0x20）に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0～16です。	8
	1行の文字数	漢字フィルタ経由で出力する時の1行の文字数を設定します。設定値は、0～255です。	0
	1頁の行数	漢字フィルタ経由で出力する時の1頁の行数を設定します。設定値は、0～255です。	0



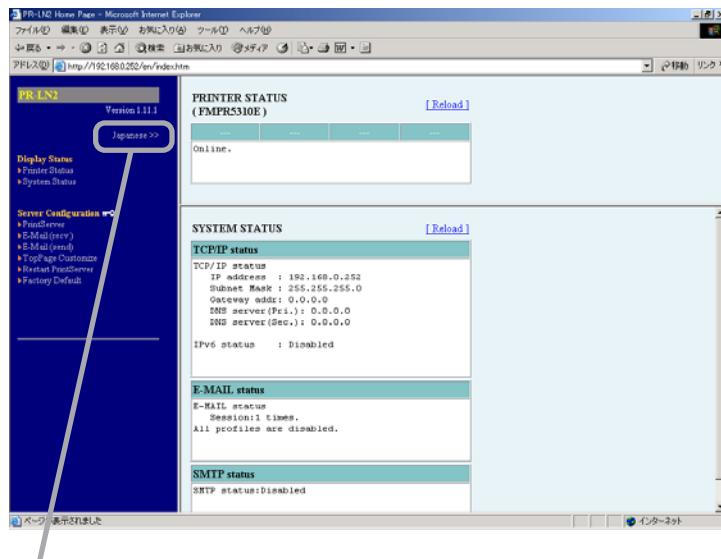
参考 B0J 文字列、E0J 文字列の定義は、ダブルコーテーション（"）の間に入力してください。そのため、B0J 文字列、E0J 文字列にはダブルコーテーションは使用しないでください。（16進表記も同様の扱いとなりますので使用しないでください）

Webブラウザで設定する

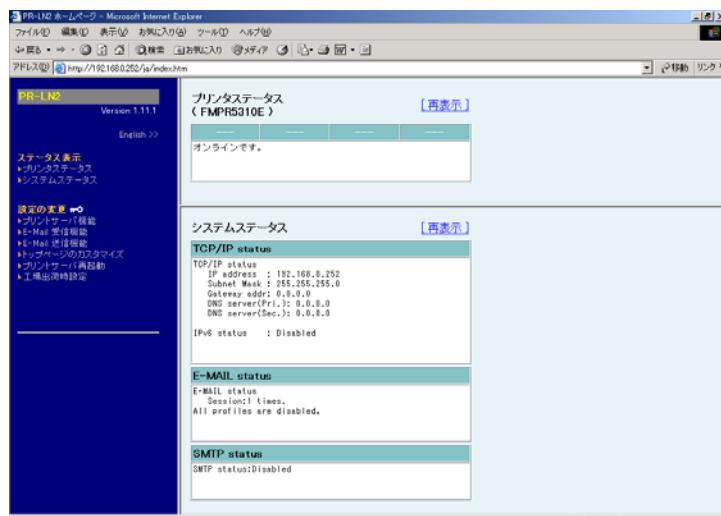
本製品はHTTPプロトコルを搭載しているので、Webブラウザを利用して本製品の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やE-mail機能の設定、プリントステータスモニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



- ・Webブラウザを利用する場合、本製品のTCP/IPプロトコル設定が有効であり、IPアドレスが設定されている必要があります。
- ・Webブラウザは、Internet Explorer 6.0以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になるWebブラウザによって多少表示が異なる場合があります。
- ・本製品の機種によっては、Webブラウザに表示される内容が異なります。
- ・Webブラウザで設定変更を行った場合は、必ず「プリントサーバ再起動」を実行してください。



初期画面は英語表示になっていますが、「Japanese」をクリックして日本語表示にすることができます。

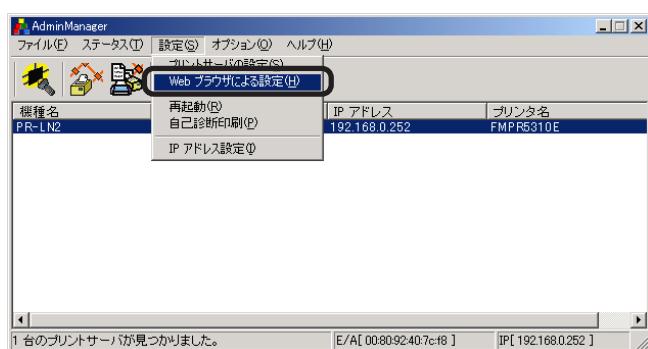


本製品のWebページを表示する

設定を行う本製品の Web ページを表示します。表示方法は 2 つあります。

AdminManager から Web ページを表示する

AdminManager の一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」-「Web ブラウザによる設定」をクリックする。



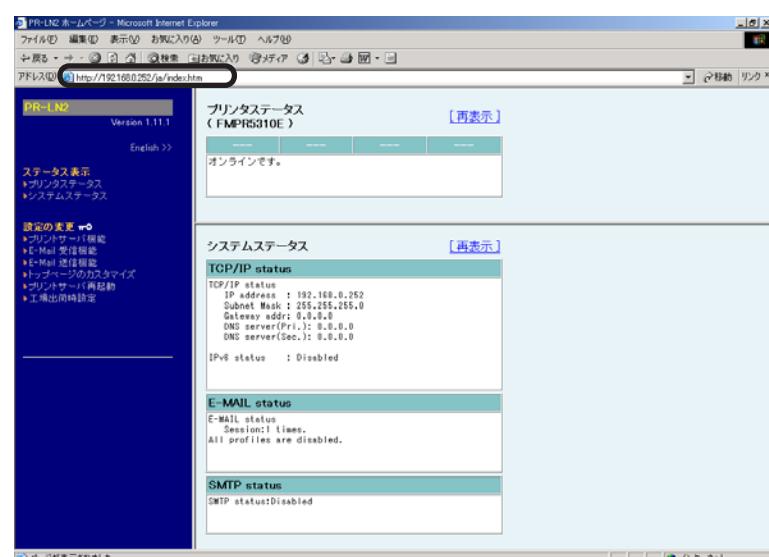
Web ブラウザから Web ページを表示する

本製品に設定された IP アドレスを Web ブラウザに入力する。

例 : <http://192.168.0.252>

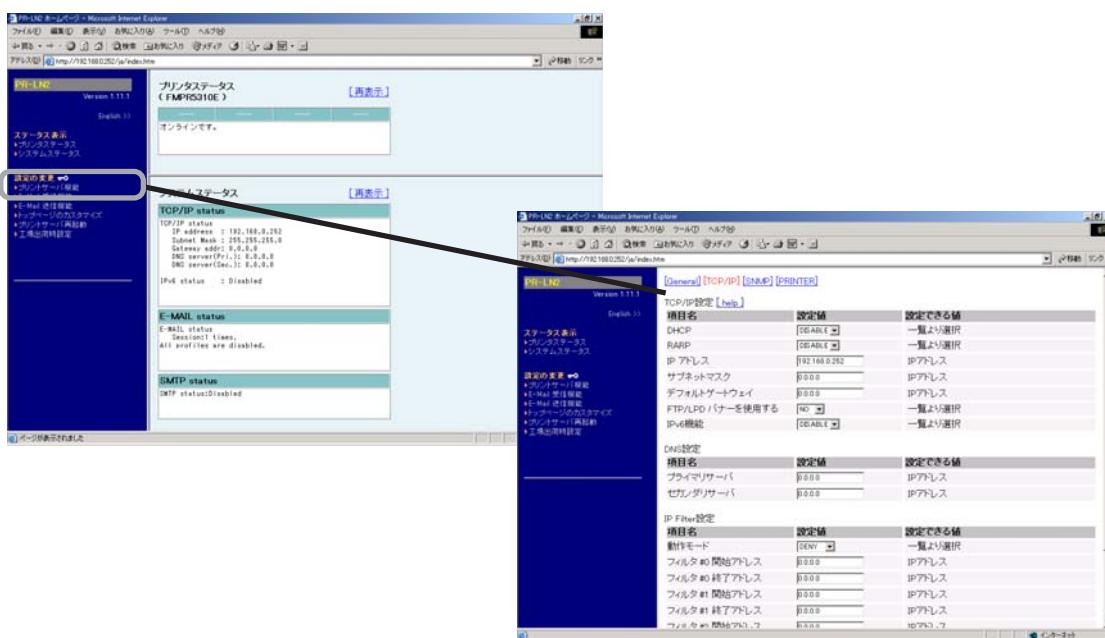
IPv6 環境の IP アドレスを入力する場合は、IP アドレスを [](括弧)で囲んでください。

例 : [http://\[IPv6 環境アドレス\]](http://[IPv6 環境アドレス])



本製品のWebページから設定する

Web ブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定 Web 画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。



本製品 Web ページメニュー構成

ステータス表示	プリンタステータス	プリンタステータスを表示
	システムステータス	システムステータスを表示
設定の変更	プリントサーバ機能	本製品の各種設定
	E-Mail受信機能	E-Mail受信機能の設定
	E-Mail送信機能	E-Mail送信機能の設定
	トップページのカスタマイズ	本製品のWebページの表示設定
	プリントサーバ再起動	本製品の再起動
	工場出荷時設定	本製品の工場出荷時設定実行



- ・設定変更の項目へ移る時に、ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力してください。
- ・設定更新により設定を更新した場合は、設定の変更の「プリントサーバ再起動」を行い、本製品の再起動を行ってください。

Webブラウザ設定項目

プリントサーバ機能

General

ネットワークの一般的な設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
General	rootパスワード	なし
	rootパスワード変更	—
	LANインターフェース	AUTO
	プリンタ名	なし

TCP/IP

IPアドレスなど、TCP/IPプロトコルを使用するための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
TCP/IP	DHCP	ENABLE
	RARP	DISABLE
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	FTP/LPDバナーを使用する	NO
	IPv6機能	DISABLE

TCP/IP

項目	設定内容		工場出荷設定
DNS Config			
プライマリ サーバ	DNSサーバ（プライマリ）のアドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要は ありません。10進数「xxx. xxx. xxx. xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0	
セカンダリ サーバ	DNSサーバ（セカンダリ）のアドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要は ありません。10進数「xxx. xxx. xxx. xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0	
IP Filter Config			
IPフィルタ動 作設定	IP フィルタの動作を設定します。設定には「allow」と 「deny」があり、「allow」にすると設定したIPアドレス範囲か らのみデータを受けとります。「deny」にすると設定したIPア ドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY	
アドレス範囲 指定	IP フィルタの範囲を設定します。フィルタしたいIPアドレスの 範囲は4組まで設定できます。	0.0.0.0	



DHCP プロトコルで使用する場合は、「RARP を使用する」設定を無効にしてください。

参考

SNMP

ネットワーク経由で管理を行なうための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
SNMP	認証コミュニティ名	SNMP の認証コミュニティ名を 設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。(半角で最大15文字)
	Trapコミュニティ名	SNMP のトラップコミュニティを 設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。(半角で最大15文字)
	Trap通知先アドレス	SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。
	SysContact	SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大255文字、全角で最大127文字)
	SysName	SysName を設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。(半角で最大255文字、全角で最大127文字)
	SysLocation	SysLocation を設定します。通常は本製品のある場所を設定します。(半角で最大255文字、全角も可)
	EnableAuthenTrap	Enable AuthenTrapの有効(1)、無効(2)を設定します。この設定を有効(1)にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生した時、SNMP トラップが「Trap通知先アドレス」で設定した IP アドレスに向けて発信されます。
	詳細ステータス	プリンタからの詳細なステータスをHost Resource MIBに反映する(ON)、しない(OFF)を設定します。



- 注意**
- ・コミュニティ名が空白、または通知先で設定されているコミュニティ名と不一致の場合は、通知先はトラップを受信出来ませんのでご注意ください。
 - ・セキュリティ対策のため、初期値(public)を変更することをおすすめします。

PRINTER

プリンタへ出力するための詳細設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定	
PRINTER	B0J文字列 (lp)	直接出力ポート（lpポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	E0J文字列 (lp)	直接出力ポート（lpポート）に出力した後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	B0J文字列 (sjis/euc)	漢字フィルタ経由出力ポート（sjis/eucポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	なし
	E0J文字列 (sjis/euc)	漢字フィルタ経由出力ポート（sjis/eucポート）に出力する後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。（半角で最大31文字）	¥†
	プリンタエミュレーション	プリンタのエミュレーション（PDL）に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート（sjis/euc）に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。	ESC/P
	タブサイズ (char.)	漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード（0x09）を半角スペース（0x20）に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0～16です。	8
	1行の文字数 (char.)	漢字フィルタ経由で出力する時の1行の文字数を設定します。設定値は、0～255です。	0
	1ページの行数 (line)	漢字フィルタ経由で出力する時の1頁の行数を設定します。設定値は、0～255です。	0

E-Mail受信(POP)

メールサーバにあるメールを受信するための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
E-Mail 受信 (POP)	POPプロトコル	POPプロトコル(メール受信機能)の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。
	着信チェック間隔(分)	メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。
	ローカルタイムゾーン	タイムゾーンを設定します。日本での使用は"+09:00"となります。
	このユーザ設定を使用する(1~4)	各ユーザのメール受信機能の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。
	POPサーバ名	メールサーバのホスト名(またはIPアドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。(半角で最大78文字)
	POPポート番号	POPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(110)で使用してください。
	POPユーザ名	メールアカウントのログイン名(ユーザ名)を設定します。(半角で最大31文字)
	POPパスワード	メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。(半角で最大31文字)
	APOPを使用する	サーバでAPOP使用の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。APOPを利用するには、メールサーバがAPOPに対応している必要があります。
	受信したメールを削除する	本製品が受信・印刷したメールをメールサーバ上から削除するかを有効(ENABLE)、無効(DISABLE)で設定します。添付ファイルのあるメールは、この設定を有効(ENABLE)にしていてもメールは削除されません。
	メール受信制限(Kbyte)	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを処理対象とします。
	フィルタ設定	特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル(空文字列)の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件()または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。(半角で最大80文字、全角で最大40文字)



メール受信機能を有効にした場合、受信したメールを印刷しますので用紙をセットしておくことをお奨めします。

E-Mail送信 (SMTP)

プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態等を通知するための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
SMTPプロトコルを使用する	SMTPプロトコルの有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。無効(DISABLE)になるとE-Mail送信機能が停止します。	DISABLE
SMTPサーバ名	SMTPサーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。(半角で最大78文字)	なし
SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(25)で使用してください。	25
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字)	なし
署名	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。(半角で最大各63文字) ----- PR-LN2 [00:80:92:XX:XX:XX] ----- (製品名とEthernetアドレス下6桁)	
送信アドレス(1～2)	送信アドレス(1～2)の送信条件を設定します。	-
送信先アドレス(1～2)	送信先のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字)	なし
チェック間隔(分)	イベントの記録があるかを一定間隔(分単位)でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
オフライン	プリンタがオフラインになったときメールを送信します。	OFF
紙切れ	プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
プリンタ異常	プリンタに異常が発生したときメールを送信します。	OFF

第6章 Popup Status Monitor

Popup Status Monitorについて

ポップアップステータスモニタ「Popup Status Monitor」はプリンタの状態をパソコン画面に表示してお知らせします。また、デスクトップに常駐するため、プリンタの状態をリアルタイムに監視することができます。（IPv4のみ）

Popup Status Monitorをご使用の際は、プリンタの機能設定で「エラー監視」設定が有効になっていることをご確認ください。

ただし、FMPR5310EGはLANカード接続時、プリンタ内部で自動的に「エラー監視」設定が有効になりますので確認の必要はありません。

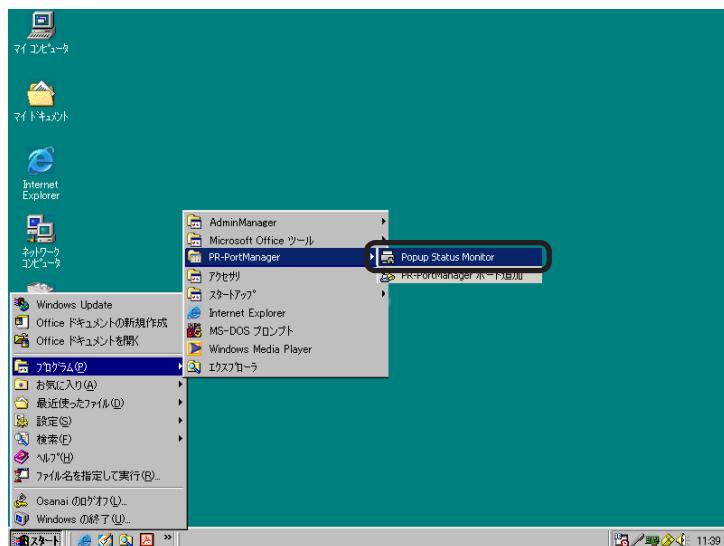


- ルーターを超えての監視はできません。同一 LAN 上でご使用ください。

注意

Popup Status Monitorの起動

「スタート」 - 「プログラム」 - 「PR-Port Manager（または任意で指定したグループ名）」 - 「Popup Status Monitor」を実行すると、Popup Status Monitorが起動します。

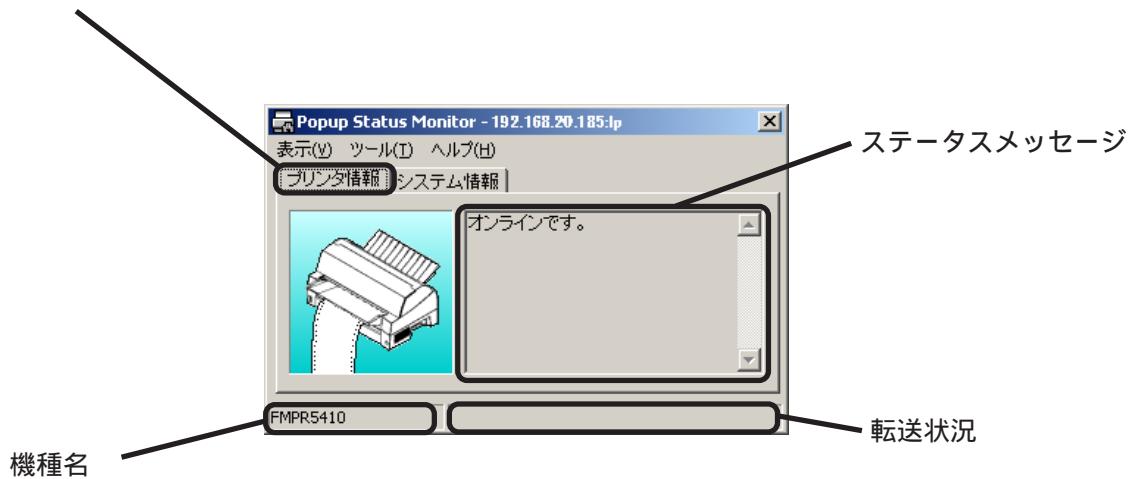


Popup Status Monitorの表示

Windows 標準の外観で、詳細なプリンタ情報を表示することができます。

プリンタ情報

プリンタステータス状態および印刷状況を表示します。



- ・ステータスマッセージ

プリンタの状態を文字列で表示します。

「オンラインです。」

「印刷中です。」

「カバーオープンです。」

「用紙無しです」

「オフラインです」

- ・機種名

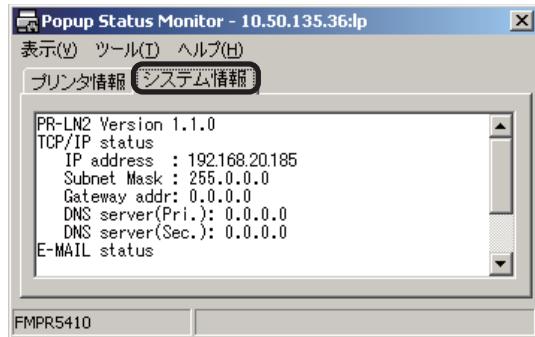
本製品の機種名を表示します。

- ・転送状況

印刷データの転送状況を表示します。

システム情報

本製品のシステムステータスを表示します。



メニュー構成

メニュー	項目	説明
表示	常に最前面に表示する	ウィンドウを常に最前面に表示します。 ただし、同様の設定のウィンドウが重なった場合には、その ウィンドウの背面に隠れます。
	最小化する	ウィンドウを最小化します。 元に戻すには、タスク通知エリアのアイコンをクリックしま す。
	終了	Popup Status Monitorを終了します。
ツール	オプション設定	オプション設定ダイアログを表示します。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

オプション設定ダイアログ

Popup Status Monitor の使用条件を変更することができます。「オプション設定」をクリックして、「オプション設定」画面を表示してください。

ステータス監視



・ PR-Port Manager ポート一覧

ご使用のパソコンに登録されている PR-Port Manager ポートの一覧が表示されます。この一覧からステータス監視を行う本製品を選択します。



- ・ PR-Port Manager ポート一覧に表示されるポートは、LPR ポートのみで、IPP ポートは表示されません。

・ 常にステータスを監視する

システムに常駐することにより、常にプリンタの状態を監視することができます。

・ 印刷時のみステータスを監視する

PR-Port Manager ポートでの印刷時のみプリンタの状態を監視します。

PR-Port Manager ポートでの印刷データ転送が完了すると、自動的に終了します。

・ ステータスウインドウ表示時のみ監視する

プリンタの状態を監視しないようにします。プリンタの状態を監視する場合は、その都度 Popup Status Monitor を起動する必要があります。

・ ステータス更新タイミング

プリンタステータスを最新の情報に更新する間隔を設定します。

表示



- ・利用できるイベント

「Popup Status Monitor」が表示することができるイベントの一覧です。

- ・選択されたイベント

「Popup Status Monitor」に表示するイベントを選択した一覧です。ここに選択したイベントと、プリンタのイベントが一致した場合、「Popup Status Monitor」を表示します。

- ・>>

「利用できるイベント」の項目を「選択されたイベント」に追加します。

- ・<<

「選択されたイベント」の項目を「利用できるイベント」に戻します。

- ・ポップアップ条件から回復後にアイコン化する

プリンタのイベントが終了した後、「Popup Status Monitor」を自動的に最小化し、タスクバーに常駐します。

- ・常に最前面に表示する

ウィンドウを常に最前面に表示します。ただし、同様の設定のウィンドウが重なった場合には、そのウィンドウの背面に隠れます。

- ・最小化して起動する

「Popup Status Monitor」を最小化した状態で起動します。

第7章 こんなときは

本章では本製品の導入時に想定される問題と、その解決法を説明します。

- ・文中マークの見方

確認

問題が起きた時に、はじめに確認してください。

対策

問題解決のための具体的な手段です。

導入時の問題

「CD-ROMを挿入しましたが、メインメニューが起動しません」

対策

Windows環境でご使用の場合、お使いのパソコンによっては、CD-ROMをセットしてもメニュー画面が自動的に起動しないことがあります。その場合は、ルートディレクトリ（お使いのCD-ROMがDドライブなら、「D:\」）にある[Autorun.exe]を直接実行してください。

「設定ツール(Quick Setup、AdminManager)で検索を行ったが、本製品が一覧に表示されません」または「ネットワーク上で認識されません」

確認1

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

プリンタの電源はONになっていますか？

ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？

プリンタの設定一覧(設定内容の印刷)を行い、設定値の確認を行ってください。「LAN接続=有効」が印字されない場合、本製品がプリンタへ正しく取り付けされていない可能性があります。



・設定内容の印刷方法については「プリンタの取扱説明書」をご参照ください。

参考

確認2

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

稼動している本製品と接続イーサネットハブ(HUB)のLINK LEDが点灯していますか？点灯していない場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。

イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していないか確認してください。

確認3

Windows XP/Windows Server 2003環境でTCP/IPプロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」-「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり...」のチェックを外してください。

確認4

Windows Vista対応前の既存の本製品を初期化した場合、Windows Vistaからは検索できません。ネットワークに接続している他のOSのパソコンから検索してください。

Windows Vista対応前の本製品バージョンは、Version 1.8.2以前のものです。

バージョンは、設定ツールAdminManagerのシステムステータスにて確認してください。

確認 5

パソコンでファイアウォール機能により検索が遮断されている可能性があります。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/

Windows 7/Windows Server 2008 R2をご利用の場合、Windowsファイアウォールで例外登録をしてください。

常駐ソフトのファイアウォール（プロテクト）機能を一時的に無効にしてください。

Windows XP/Windows Server 2003をご利用の場合、ローカルエリアネットワークのプロパティ内、詳細タブの「インターネット接続ファイアウォール」を一時的に無効にしてください。

確認 6

ルータを越えての接続の場合、AdminManagerやPR-Port Managerのプリントサーバ検索はできないことがあります。

同一LAN上から検索を行ってください。

接続しているプリンタとAdminManagerに表示されているプリンタが違っている。

対策 1

本製品の初期化を行い、工場出荷設定に戻した後、もう一度検索を行ってください。

工場出荷時設定に戻す方法については、「第5章プリントサーバの設定」の初期化について(5-11)をご参照ください。

対策 2

他のネットワークに移設した場合は、移設前の環境に接続して、本製品を初期化してください。移設前の環境に戻れない場合は、本章最後(7-11)にある「DIP SW 操作による初期化」を行ってください。

IPアドレスの設定を行うと通信エラーになります。

確認 1

本製品のLINK/STATUS LEDが正常に点灯しているか確認してください。

プリンタの電源はONになっていますか？

ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。

イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していないか確認してください。

確認 2

設定ツールを起動しているパソコン側のIPアドレスが確定しているか確認してください。

ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができるか確認するために、MS-DOSプロンプトよりPingコマンドを実行してください。



Pingコマンドの使用方法については、「Windows TCP/IP環境での問題」の確認1を参照してください。

確認 3

本製品が初期化されているか確認してください。

本製品を工場出荷設定に戻す方法については、「第5章プリントサーバの設定」の初期化について(5-11)をご参照ください。

確認 4

本製品に不正なIPアドレスを設定している可能性があります。

ルータやサーバが不正なIPアドレスを設定していないか確認してください。

不正なIPアドレスが設定された本製品を工場出荷設定に戻す方法については、「第5章プリントサーバの設定」の初期化について(5-11)をご参照ください。

確認 5

本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内に無い可能性があります。

本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内にあることを確認してください。

確認 6

本製品が取り付けられたプリンタを他のネットワークへ移設していませんか？

ネットワーク上にDHCPが存在している環境から、「工場出荷設定に戻す」作業を行わない状態で、ネットワーク上にDHCPが存在しない環境へ移設した可能性があります。

移設前の環境へ接続し、AdminManagerから「工場出荷設定に戻す」作業を行ってください。

[「第5章プリントサーバの設定」の初期化について(5-11)をご参照ください。]



- ・本製品が取り付けられたプリンタを他のネットワークに接続する場合は、事前に「工場出荷設定に戻す」作業を必ず行ってください。

移設前の環境に戻れない場合は、本章最後(7-11)にある「DIP SW 操作による初期化」を行ってください。

確認 7

ご使用のPCで無線LANが優先されています。下記の方法で有線LANを優先に設定してください。

- 1 . 「ネットワーク接続」フォルダーを開きます。
- 2 . 有線LANの「ネットワーク アダプター」のプロパティを表示します。
- 3 . 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」のプロパティを表示します。
- 4 . 「詳細設定」ボタンをクリックします。
- 5 . 「自動メトリック」のチェックを外します。
- 6 . 「インターフェイス メトリック」に数値を入力します。
メトリック値は、数値の大小だけを見ているので、有線LANの方に小さい値を（最小は1）設定してください。
- 7 . 2 ~ 6までの手順を無線LANの「ネットワーク アダプター」で行います。
メトリック値は、有線LANで設定した値よりも大きい値を設定してください。
例) 有線LANのメトリック値 : 1
無線LANのメトリック値 : 2

プリンタの状態を表示するモニタ表示(Popup Status Monitor、AdminManagerのプリンタステータス、Web ブラウザのプリンタステータス)が、「ステータス取得中です。しばらくお待ちください。」の表示から変わらない。

確認

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

プリンタの機能設定で「エラー監視」設定が有効になっていますか？

有効になっていない場合は、「エラー監視」設定を有効にしてください。



・プリンタの機能設定の変更方法については、「プリンタの取扱説明書」をご参照ください。

参考

印刷時の問題

「印刷が行えません」

確認 1

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

プリンタの電源はONになっていますか？

確認 2

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

稼動している本製品と接続イーサネットハブ(HUB)のLINK LEDが点灯していますか？

ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？

ネットワークケーブルは断線していませんか？

イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していませんか？

「バナーページが正常に印刷されません」

対策

前回印刷を行った時の設定が残ったままになっていることが考えられます。B0J文字列またはE0J文字列の設定でリセットコマンドを定義してください。

例）："¥x1B@"

「印刷を中止したい」

対策

再印刷を正しく行うには、以下の手順で印刷中止を行ってください。

1. プリンタフォルダより印刷に使用したプリンタを開く。
2. スプーラにある印刷中のドキュメントを削除する。
3. プリンタのリセットスイッチを押す。

「印刷したいプリンタが動作せず、他のプリンタに印刷されてしまう」

確認

印刷したいプリンタと他のプリンタのIPアドレスが同じ設定になっていませんか？
IPアドレス設定を確認し、再設定を行ってください。

「印刷が途中で停止してしまう」

確認1

印刷中のプリンタと他のプリンタのIPアドレスが同じ設定になっていませんか？

確認2

多数の印刷データを送っていますか？
多数の印刷データを送ると、印刷が一時停止することがあります。一定時間経過すれば印刷が再開されますのでお待ちいただきますようお願いします。

確認3

PR-Port Manager LPRポートで印刷している場合、LPRポートの設定を「拡張ポートを使用しない」にしている可能性があります。プリンタのプロパティ画面で[ポートの構成]または[ポートの設定]をクリックして、「拡張ポートを使用しない」のチェックをはずしてください。

確認4

OS(Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2)標準のIPPポートを使用して複数枚の単票データを印刷した場合、用紙セットのタイミングが遅いとOS側でタイムアウトとなり印刷が停止することがあります。
専用IPPポート(PR-PortManager)を作成し印刷してください。

Windows TCP/IP環境での問題

「印刷が行えません」

確認 1

TCP/IPプロトコルを使用している場合、本製品に割り当てたIPアドレスに、Pingコマンドを使って、応答があるか確認してください。Pingコマンドによる応答がない場合、IPアドレスが正しく設定されていない可能性があります。本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、再度IPアドレスの設定を行ってください。

例) Windows XP のコマンドプロンプトで ping を実行する場合

「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」で、
Ping XXX.XXX.XXX.XXX を実行すると下記内容が表示されます。XXX.XXX.XXX.XXX は本製品の
IP アドレスです。

(Ping に応答がある場合)

```
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253
```

(Ping に応答がない場合)

```
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
```



- ・本製品を工場出荷時設定に戻す方法については、「第5章 プリントサーバの設定」の初期化について(5-11)をご参照ください。

確認 2

使用しているプリンタドライバの印刷先ポートの設定ができていない可能性があります。「プリンタ」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」を確認してください。本製品のポート名は、任意のポート名の後に「PR-Port Manager LPR Port」、「PR-Port Manager IPP Port」と記されています。

例) 印刷先ポート = xxx.xxx.xxx.xxx:lp<PR-Port Manager LPR Port>
xxx.xxx.xxx.xxx は IP アドレス

対策1

お使いのパソコンと本製品が同一セグメント内に無い場合、本製品にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行う必要があります。AdminManager、または本製品のWebページでサブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。

対策2

ネットワーク上にDHCPサーバが存在していると、IPアドレスの自動割当を行うため、本製品に設定したIPアドレスが、各サーバにより書き換えられてしまう可能性があります。各サーバに本製品のIPアドレスを自動的に割り当てられないように、設定項目の「DHCPを使用する」のチェックボックスを外して、再度IPアドレスの設定を行ってください。

「印刷中にエラーが発生します」

確認

他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのデータを印刷している時に印刷を行った場合、他の人の印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなることがあります。その際は、再度印刷を行ってください。

「印刷を行うとダイヤルアップが起動します」

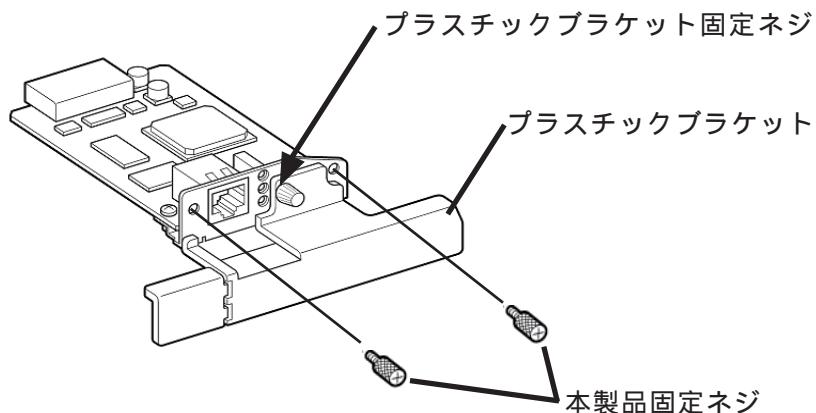
確認

ダイヤルアップを「キャンセル」すると、ダイヤルアップアダプタからLANアダプタへ処理が移行され、印刷が開始されます。この現象はWindowsの仕様によります。

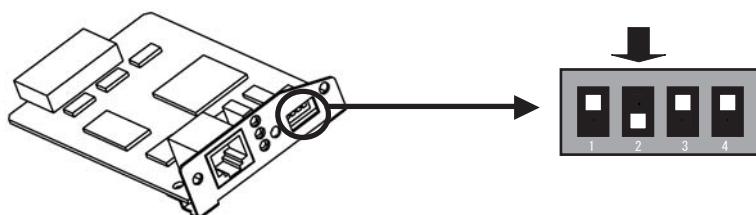
DIP SW 操作による初期化

DIP SW を操作して初期化する手順を説明します。

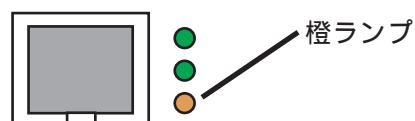
1. プリンタ本体の電源をOFFにします。
2. プリンタ本体から本製品を取り外します。
 - ・ LANケーブルを外し、本製品の固定ネジ 2 本を外します。
 - ・ プラスチックブラケットの中央部を持って本製品を取り外します。



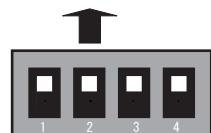
3. プラスチックブラケットの固定ネジ (ツマミネジ) を外します。
4. 左から 2 番目のDIP SW を下側 (ON) にします。



5. プラスチックブラケットを固定ネジで固定します。
(本製品をプリンタ本体から引抜く時にプラスチックブラケットが必要です。)
6. 本製品をプリンタ本体に取り付けます。(LANケーブルは挿さないでください。)
7. プリンタ本体の電源をONにします。
8. 1番下側の橙ランプが点滅 (1~2回) しますのでランプが消えたら (約5秒後)
プリンタ本体の電源をOFFにします。



9. プリンタ本体から本製品を取り外します。
10. プラスチックプラケットの固定ネジを外します。
11. 左から 2 番目のDIP SW を上側(OFF)に戻します。 (4 項の逆)



12. プラスチックプラケットを固定ネジで固定します。
13. 本製品をプリンタ本体に取り付けます。
 - ・本製品の固定ネジ 2 本で固定し、LANケーブルを挿します。

付録 FMPR-LN2

ハードウェア仕様

CPU

32bit RISC CPU

メモリ

RAM : 2MByte

FlashROM : 1MByte

ネットワークインターフェース

10BASE-T/100BASE-TX (自動認識) : 1 ポート

その他

LED ランプ: ステータス (橙) 10BaseLINK (緑) 100BaseLINK (緑) の 3 個

ソフトウェア仕様

対応プロトコル

- TCP/IP

IPv4:

LPD、FTP、IPP、HTTP、DHCP、SNMP、POP3、SMTP、
DNS、DDNS、TCP、UDP、ARP、IP、ICMP

IPv6:

LPD、FTP、IPP、HTTP、TCP、UDP、ARP、IP、ICMP

LAN カード FMPR-LN2

取扱説明書

発行日 2011年 10月

発行責任 富士通株式会社

本マニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本マニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の損害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。
